

第3部 実績・参考資料

第3部 実績・参考資料

1. 平成18年度事業実績

研修員受入実績	24
研修員福利厚生事業実績	27
日本語研修実施実績	28
青年招へい受入実績	29
海外ボランティア新規派遣実績	30
草の根技術協力事業実績	32
国際協力キャンペーン／市民講座実績	33
国際協力出前講座実績	35
JICA中国施設見学（異文化体験教室）受入実績	40
教師海外研修実績	42
国際理解教育研修会	43
研修員の学校訪問実績	45
高校生国際協力体験プログラム	46
高校生エッセイコンテスト応募実績と入賞者	49
中学生エッセイコンテスト応募実績と入賞者	50
海外視察等に関する支援・便宜供与実績	52
海外記者派遣実績	53
職業インタビュー受入実績	53
広島大学との連携協力	54

2. 参考資料

主な関係団体（中国5県）	58
国際協力機構の組織図	59
JICA中国の沿革	60
JICA中国の組織図・業務内容	61
JICA中国の職員	62

平成18年度 研修員受入実績

(1) 技術研修員受入実績

合計 283名

コース名	タイプ	人数	受入国	受入期間	主な実施機関	研修委託先
廃棄物管理総合技術Ⅱ	集団	7	東ティモール、ベトナム、パキスタン、ミクロネシア(2)、ニカラグア、マケドニア旧ユーゴスラビア共和国	2006/5/9～ 2006/8/6	広島県環境部環境調整室	(財)ひろしま国際センター
ガスタービン・蒸気タービン(石炭)火力発電	集団	10	モンゴル、バングラデシュ、パキスタン、スリランカ(2)、コロンビア、ベネズエラ、ナイジェリア(2)、ジンバブエ	2006/5/16～ 2006/7/15	(社)海外電力調査会、 (特)PET	(社)海外電力調査会
養殖魚の健康と安全管理	集団	8	インドネシア、マレーシア、ミャンマー、チリ(2)、コロンビア、トルコ、ケニア	2006/5/30～ 2006/8/5	(独)水産大学校	(独)水産大学校
乾燥地水資源の開発と環境評価Ⅱ	集団	9	中華人民共和国、パキスタン、アフガニスタン、エチオピア、ナイジェリア、タンザニア、ジンバブエ(2)、ニジェール	2006/7/4～ 2006/11/12	(国)鳥取大学農学部・ 乾燥地研究センター	なし
中等科学教育実技Ⅱ	集団	7	ガンビア、ガーナ、マラウイ、ナミビア、南アフリカ共和国、ウガンダ、タンザニア	2006/8/8～ 2006/10/1	(国)広島大学大学院教育学研究科	なし
地域観光開発と持続可能な観光振興	集団	12	タイ、中華人民共和国、バングラデシュ、バブアニューギニア、ソロモン、パラオ、コスタリカ、パナマ、ペルー、イエメン、セルビア・モンテネグロ、ウズベキスタン	2006/9/5～ 2006/11/12	広島県商工労働部産業振興局観光振興室、 (国)広島大学大学院地域経済システム研究センター	(財)ひろしま国際センター
食品加工・保全技術Ⅲ	集団	5	インドネシア、マレーシア、タイ、ミャンマー、フィリピン	2007/1/9～ 2007/3/18	広島県立食品工業技術センター	(財)ひろしま国際センター
沿岸漁業の統合的な管理手法	集団	5	マレーシア、メキシコ、サモア、コスタリカ、ペルー	2007/3/21～ 2007/6/30	(独)水産大学校	(独)水産大学校
南東欧地域 「サポーティングインダストリー育成」	地域別	8	ブルガリア(2)、クロアチア、ルーマニア、マケドニア旧ユーゴスラビア共和国、ボスニア・ヘルツェゴビナ、モルドバ、ウクライナ	2006/5/30～ 2006/7/2	県立広島大学	(財)ひろしま国際センター
仏語圏アフリカ 「教育行政」	地域別	8	ブルキナファソ(2)、カメルーン、チャド、コートジボワール、マダガスカル(2)、ニジェール	2006/6/6～ 2006/7/16	(国)広島大学高等教育研究開発センター、 広島県立教育センター	(財)ひろしま国際センター
中東地域 「上水道維持管理」	地域別	10	イラク(2)、ヨルダン、オマーン(2)、シリア(3)、イエメン(2)	2006/7/4～ 2006/9/10	広島市水道局	広島市水道局
中南米地域 「生活排水処理計画」	地域別	12	コスタリカ、ドミニカ共和国、エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス、ニカラグア、パナマ、アルゼンチン、ボリビア、コロンビア(2)、パラグアイ	2006/8/15～ 2006/11/2	東広島市	(財)ひろしま国際センター
南西アジア地域 「公害防止行政」	地域別	7	スリランカ(2)、ネパール(3)、パキスタン、バングラデシュ	2006/10/10～ 2006/12/24	広島県環境部環境調整室	(財)ひろしま国際センター
社会的環境管理能力の形成と政策評価	地域別	12	インドネシア(5)、フィリピン(3)、ベトナム(4)	2006/11/7～ 2006/12/10	(国)広島大学大学院国際協力研究科(IDEC)	なし

(前項に続く)

コース名	タイプ	人数	受入国	受入期間	主な実施機関	研修委託先
中南米地域 「治安対策強化セミナー」	地域別	10	コスタリカ、ドミニカ共和国、エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス、ニカラグア、パナマ、ブラジル、ペルー、コロンビア	2006/12/3～ 2006/12/20	広島県警察本部	(財)ひろしま国際センター
南部アフリカ地域 「中小企業育成」	地域別	9	マラウイ(2)、セーシェル、タンザニア(2)、ザンビア、ジンバブエ(2)、モーリシャス	2007/1/9～ 2007/3/18	広島県商工労働部、(財)ひろしま国際センター	(財)ひろしま国際センター
サブサハラ・アフリカ地域 「平和構築としてのガバナンス能力強化」	地域別	9	ルワンダ(3)、ウガンダ(3)、シエラレオネ(3)	2007/1/30～ 2007/2/25	広島県	(財)ひろしま国際センター
アフリカ 「研究と対話による自立的な基礎教育開発の促進」	地域別	12	ナイジェリア(3)、ブルキナファソ(3)、マダガスカル(3)、ザンビア(3)	2007/2/12～ 2007/3/16	(国)広島大学教育開発国際協力研究センター(CICE)、国連大学	なし
課題別研修 小計		160				
平和のための教育ネットワーク構築	国別(GI)*	9	ボスニア・ヘルツェゴビナ	2006/6/13～ 2006/7/19	広島県総務部国際室	(財)ひろしま国際センター
地方行政	国別(GI)	10	カンボジア	2006/10/10～ 2006/11/19	東広島市	(財)ひろしま国際センター
火力発電	国別(GI)	10	イラク	2006/10/24～ 2006/12/24	(株)PET	(社)海外電力調査会
理数科教員養成者研修	国別(GI)	10	南アフリカ共和国	2006/10/31～ 2006/12/10	(国)広島大学CICE、(国)鳴門教育大学自然系	(国)鳴門教育大学、(国)広島大学
女性起業家育成支援	国別(GI)	10	フィリピン	2006/11/7～ 2006/12/17	広島県、(財)広島県女性会議	(財)ひろしま国際センター
地方自治行政	国別(GI)	13	インドネシア	2007/1/14～ 2007/1/27	広島県総務部国際室	(財)ひろしま国際センター
INSET運営管理	国別(GI)	12	ケニア	2007/2/13～ 2007/3/18	(国)広島大学IDEC、広島県立教育センター	(財)ひろしま国際センター
国際収支・国際経済マネジメント能力強化	国別(GI)	10	インドネシア	2007/3/6～ 2007/3/24	(国)広島大学IDEC	(国)広島大学
細胞診指導医育成	国別	3	メキシコ	2006/4/14～ 2006/6/10	加計学園倉敷芸術科学大学生命科学部生命科学科	なし
中小企業振興	国別	6	セルビア・モンテネグロ	2006/5/30～ 2006/7/2	県立広島大学	なし
配電補修	国別	2	カンボジア	2006/6/15～ 2006/7/9	四国電力(株)、(株)四電工、中国電力(株)エネルギー事業推進室海外事業部	(社)海外電力調査会
中等理数科教育実技	国別	5	ケニア	2006/8/8～ 2006/10/8	(国)広島大学大学院教育学研究科、IDEC	なし
乾燥地緑化技術	国別	2	ブラジル	2006/10/12～ 2006/10/29	(国)鳥取大学乾燥地研究センター	なし
教育マネジメントと地方分権化	国別	3	ガーナ	2006/11/26～ 2006/12/9	(国)広島大学	なし

(前項に続く)

コース名	タイプ	人数	受入国	受入期間	主な実施機関	研修委託先
食品加工・保全技術Ⅲ	国別	1	ベトナム	2007/1/9～ 2007/3/18	広島県食品工業技術センター	(財)ひろしま国際センター
中小企業育成促進	国別	5	ガーナ	2007/1/19～ 2007/3/18	広島県商工労働部	(財)ひろしま国際センター
INSET運営管理	国別	3	ウガンダ	2007/2/13～ 2007/3/18	(国)広島大学IDEC、 広島県教育センター	(財)ひろしま国際センター
INSET運営管理	国別	2	マラウイ	2007/2/13～ 2007/3/18	(国)広島大学IDEC、 広島県教育センター	(財)ひろしま国際センター
INSET運営管理	国別	2	ザンビア	2007/2/13～ 2007/3/18	(国)広島大学IDEC、 広島県教育センター	(財)ひろしま国際センター
国別研修 小計		118	* (GI) : General Information作成の研修コース			
小中学校理数教科教育改善計画1	長期	1	ガーナ	2004/9/20～ 2006/9/30	(国)広島大学IDEC	なし
小中学校理数教科教育改善計画2	長期	1	ガーナ	2004/9/20～ 2006/9/30	(国)広島大学IDEC	なし
理数教科教育	長期	1	カンボジア	2004/9/26～ 2007/3/20	(国)岡山大学大学院教育学研究科	なし
中等理数教科教育	長期	1	ケニア	2005/9/26～ 2008/4/3	(国)広島大学IDEC	なし
環境管理技術能力向上	長期	1	ベトナム	2006/9/3～ 2008/10/3	(国)広島大学IDEC	なし
長期研修 小計		5				

(2) 日系研修員受入実績

合計 6名

コース名	タイプ	人数	受入国	受入期間	主な実施機関	研修委託先
遺伝子組替植物の作成と検出技術習得	日系	1	メキシコ	2006/4/10～ 2006/6/29	(国)広島大学大学院理学研究科	なし
微気象観測と樹木の導管の画像解析1	日系	1	ブラジル	2006/4/17～ 2006/7/2	(国)広島大学総合科学部	なし
微気象観測と樹木の導管の画像解析2	日系	1	ブラジル	2006/4/17～ 2006/7/2	(国)広島大学総合科学部	なし
保健医療 (口腔保健学)	日系	1	ブラジル	2006/5/8～ 2007/4/22	(国)広島大学歯学部口腔保健学科口腔保健工学講座	なし
大気汚染・酸性雨・地球温暖化の化学	日系	1	パラグアイ	2006/4/17～ 2007/7/1	(国)広島大学総合科学部	なし
理学療法 (作業療法) による機能回復訓練	日系	1	ブラジル	2006/12/04～ 2007/2/18	広島県立身体障害者リハビリテーションセンター	(財)ひろしま国際センター

平成18年度 研修員福利厚生事業実績

単位：人

区分	事業名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間参加人数	
日本文化体験	茶道教室			22 17		8	11	13	29			15	19	134	
	華道教室		6	15		6	11	7	18			18	12	93	
	着付け教室		20	24	12		11		11		8	5		91	
	書道教室				2	15		9				12		38	
	日本文化体験デー							32				31		63	
	伝統芸能鑑賞				34				40		15			89	
	注1： 次郎丸太鼓									注2： 三味線他					
小計														508	
レクリエーション	バスツアー		23 宮島	39 神楽門前 湯治村			40 宮島	31 神楽門前 湯治村	29 宮島	12 宮島		27 宮島	31 宮島	232	
	カクテルパーティー				20		48	45					42	155	
	小計													387	
地域交流	ホームステイ		0			7			7			2		16	
	ホームビジット		0			7			15			24		46	
	地域行事参加					18		39 注5： 東広島市			14			109	
	国際理解講座 「HIPで世界を楽しもう！」				3		10		14			3		30	
	ボランティア相談日		10	14	15	23	10		15		11	11	8	117	
	ロビーイベント (けん玉・民謡・空手・マンドリン他)			25 25	30	20		30 20	40			30		40	260
	ミニコンサート (ピアノ・民謡・英語落語他)			30 45	23 8	27	35	24 40				60 47 26	31	396	
	ロビー展示 (池坊活花展示他)			5									4	9	
	クッキング交流		9	20		10						6		45	
	クッキング交流 (日本料理)				4		18				12			34	
	その他地域交流 (公民館、団体との交流他)							1	12					13	
小計														1,075	
総参加人数														1,970	

- 注1：次郎丸太鼓 東広島酒造組合次郎丸太鼓チームと長塚BoomBoomによる太鼓演奏と交流会。
 注2：さくらの会 広島さくらの会の協力により、三味線・琴・太鼓による演奏、南京玉すだれ、混声コーラス、西条酒造り歌などの民謡、炭坑節等の踊りを交え、研修員と参加者の交流を図った。
 注3：新年交流会 研修員が餅つきと正月料理の体験を通じ、プラザ運営協力者と交流。外国の祝い料理の試食・日本の玩具・邦楽KAMOによる邦楽演奏の観賞。
 注4：三原やっさ祭り 三原やっさ祭り参加（三原ライオンズクラブからの招待）。研修員とライオンズクラブ会員が「国際交流チーム」として、浴衣姿で三原駅周辺をやっさ踊りを踊りながら練り歩いた。
 注5：西条酒まつり 西条駅前周辺で実施された「酒まつり」に研修員はハッピーを着て参加し、祭り会場や酒蔵通りの散策や御輿担ぎ行い、日本の秋祭りを体験。
 注6：御園宇小学校 とんど祭り 研修員が地元(御園宇小学校)で行われるとんど祭りに参加し、地域の人たちと交流を図りながら日本の伝統行事を体験。

平成18年度 日本語研修実施実績

コース名	技術研修		日本語研修								備考
	実施機関名	受入数	集中講習	回数	時間数	受講者数	一般講習 (登録制)	回数	時間数	対象者数	
沿岸漁業の統合的な管理手法	(独)水産大学校	5	4/3~4/7	5	25	5	なし	0	0	0	
廃棄物管理総合技術	広島県環境局循環型社会推進室	7	5/22~5/25	4	20	7	第1期(実践)	10	20	7	集中講習は第3週目に実施 5/26 学校訪問
ガスタービン・蒸気タービン(石炭)火力発電	(独)海外電力調査会、(独)PET	10	5/22~5/26	5	25	10	なし	0	0	0	
南東欧地域「サポーターリングインダストリー育成」	広島県立大学	8	なし	0	0	0	第1期(入門)	6	12	14	CPセルビア6名 参加合計14名 日本語夜間3日 2クラス編成
養殖業の健康と安全管理	(独)水産大学校	8	6/5~6/8	4	20	8	なし	0	0	0	6/9 学校訪問
仏語圏アフリカ[教育行政]	広島大学、広島県立教育センター	8	なし	0	0	0	第2期(入門)	3	6	8	日本語夜間3日
ボスニア「平和のための教育ネットワーク構築」	広島県、広島大学	9	なし	0	0	0	第3期(入門)	3	6	9	日本語夜間3日
乾燥地水資源の開発と環境評価Ⅱ	鳥取大学農学部	9	7/10~7/13	4	20	9	なし	0	0	0	7/14 学校訪問
中東地域「上水道維持管理」	広島市水道局	10	7/10~7/13	4	20	10	第2期(実践)	8	16	8	8/10 キャンセル日本語夜間8日 7/14 学校訪問
フィリピン「女性企業家育成支援」	広島県、(独)女性会議	10	なし	0	0	0	第6期(入門)	3	6	10	日本語夜間3日
中等科学教育実技Ⅱ	広島大学大学院教育学研究科	7	8/14~8/18	5	25	12	第3期(実践)	9	18	12	CPケニア5名参加 日本語夜間9日に変更
中南米地域「生活排水処理計画」	東広島市	12	8/21~8/25	5	25	12	第4期(実践)	10	20	10	日本語夜間10日
地域観光開発と持続可能な観光振興	広島県商工労働部、広島大学経済学部地域経済システム研究センター	12	9/19~9/22	4	20	13	第5期(実践)	8	16	12	日本語集中4日、集中のみベトナム 長期研修員1名参加、実践8日間
南西アジア地域「公害防止行政」	広島県環境局環境調整室	7	なし	0	0	0	第5期(入門)	10	20	7	日本語夜間10日
カンボジア「地方行政」	東広島市	10	なし	0	0	0	第4期(入門)	3	6	10	日本語夜間3日
イラク「火力発電」	(独)PET	10	10/30~11/2	4	20	10	なし	0	0	0	
南アフリカ共和国「理数科教員養成者研修」	広島大学、鳴門教育大学	10	なし	0	0	0	第7期(入門)	3	6	10	日本語夜間3日
社会的環境管理能力の形成と政策評価	広島大学	12	なし	0	0	0	第8期(入門)	3	6	12	日本語夜間3日
食品加工・保全技術Ⅲ	広島県立食品工業技術センター	5	1/15~1/19	5	25	5	第6期(実践)	10	20	6	CPベトナム1名 参加合計6名 日本語夜間10日
南部アフリカ地域「中小企業育成」	広島県商工労働部	9	1/15~1/19	5	25	9	第7期(実践)	10	20	9	日本語夜間10日
サブサハラ・アフリカ地域「平和構築のためのガバナンス能力強化」	広島大学	9	なし	0	0	0	第8期(入門)	3	6	9	日本語夜間3日
アフリカ「研究と対話による自立的な基礎教育開発の促進」	広島大学CICE、国連大学	12	なし	0	0	0	第11期(入門)	3	6	12	日本語夜間3日
ケニア「INSET運営管理」	広島大学IDEC、広島県立教育センター	12	なし	0	0	0	第12期(入門)	6	12	19	日本語夜間3日 2クラス編成
合計23コース		211	12コース	54	270	110	18コース	111	222	184	

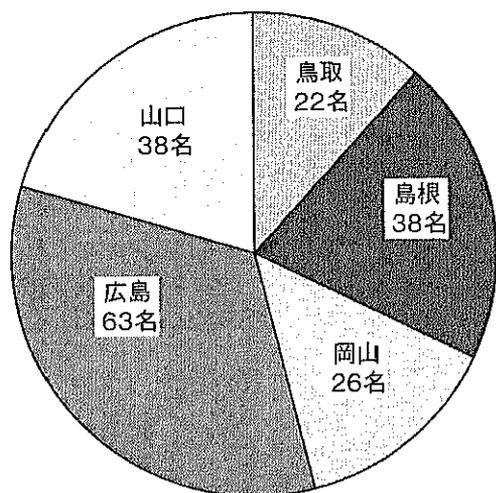
- ※1 集中講習は、計25時間又は50時間コース。原則として、月曜日から金曜日の5日間(5時間/日)実施(祝祭日を除く)。
 ※2 一般講習(実践コース)は、計20時間コース。原則として、火曜日から木曜日のうち週2日(2時間/日)ずつ5週間実施。ただし、受講希望者が5名以上(1コース10名程度)の場合のみコース開設。(実践コース:集中講習受講者対象)
 ※3 一般講習(入門コース)は、計6時間コース。原則として、研修の第1週又は第2週に計3日間(2時間/日)実施。(入門コース:集中講習未受講者対象)
 ※4 特別活動は、原則として、月曜日又は金曜日に週1日(1~2時間/日)程度実施(祝祭日及び福利厚生事業実施日等を除く)。
 ※5 1クラス定員13名まで、14名以上は2クラス編成とする。
 ※6 CPとはカウンターパート研修を意味する。

平成18年度 青年招へい受入実績

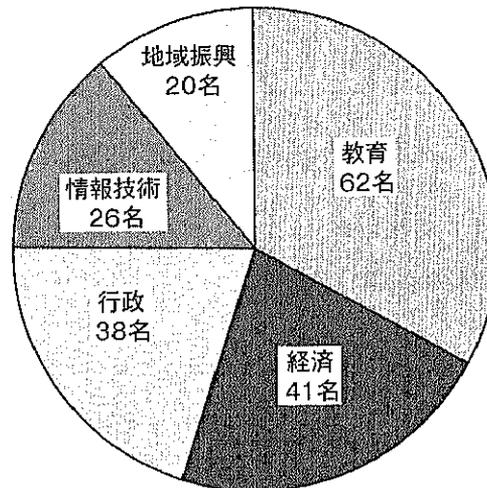
合計： 9件
参加者数：187名

県名	国・地域名	分野	人数	受入団体	地方プログラム受入期間
山口県	太平洋混成	経済（中小企業振興）	18	世界青年徳山友の会	2006. 6.14～2006. 6.21
島根県	カンボジア	行政（地方行政）	24	国際ネットワークしまね	2006. 6.27～2006. 7. 4
鳥取県	インドネシア	教育（初中等）	22	とっとり青友会	2006. 7.10～2006. 7.18
岡山県	ベトナム	教育（教育行政）	26	津山と世界を結ぶ会	2006. 7.24～2006. 8. 1
広島県	タイ	情報技術（IT）	26	しょうばら国際交流協会	2006.11. 7～2006.11.14
島根県	アフガニスタン	行政（地域開発）	14	島根県地域国際協力連合会	2006.11.14～2006.11.21
山口県	インドネシア	地域振興（青少年活動）	20	財団法人防長青年館	2006.12. 5～2006.12.12
広島県	パキスタン	教育（教員養成2）	14	社団法人青年海外協力協会中国支部	2007. 1.22～2007. 2. 6
広島県	中央アジア	経済（中小企業振興）	23	学校法人広島YMCA学園	2007. 2.13～2007. 2.20

H18年度 青年招へい受入実績：県別受入人数



H18年度 青年招へい受入実績：分野別受入人数



平成18年度 海外ボランティア新規派遣実績

(1) 青年海外協力隊新規派遣実績

合計 72名

県名	派遣国	職種
鳥取 7名	ニジェール	青少年活動
	ウガンダ	村落開発普及員
	トンガ	PCインストラクター
	タイ	作業療法士
	ブルキナファソ	植林
	フィリピン	陶磁器
	バングラデシュ	感染症対策
島根 13名	中華人民共和国	日本語教師
	ガーナ	理数科教師
	コロンビア	音楽
	ホンジュラス	小学校教諭
	セントルシア	小学校教諭
	グアテマラ	小学校教諭
	ブータン	コンピューター技術
	モンゴル	理数科教師
	ジブチ	婦人子供服
	タンザニア	コンピューター技術
	パラグアイ	小学校教諭
	パプアニューギニア	村落開発普及員
	パナマ	助産師
岡山 24名	マレーシア	組織培養
	タイ	日本語教師
	マラウイ	果樹
	タンザニア	看護師
	パプアニューギニア	理数科教師
	カメルーン	小学校教諭
	セネガル	村落開発普及員
	タンザニア	幼稚園教諭
	カンボジア	理数科教師
	マーシャル	体育
	ブータン	養護
	ブルキナファソ	村落開発普及員
	ジンバブエ	体育
	コスタリカ	観光業
	トンガ	珠算
	スリランカ	コンピューター技術
	スリランカ	村落開発普及員
	ベトナム	村落開発普及員
	チュニジア	作業療法士
	中華人民共和国	看護師
	ネパール	養護
	ベトナム	看護師
	グアテマラ	看護師
	ベネズエラ	村落開発普及員

県名	派遣国	職種
広島 13名	ホンジュラス	エイズ対策
	マラウイ	看護師
	ルワンダ	村落開発普及員
	タンザニア	コンピューター技術
	タンザニア	村落開発普及員
	ジンバブエ	測量
	フィリピン	家畜飼育
	ザンビア	サッカー
	サモア	理数科教師
	ベトナム	理学療法士
	ボリビア	村落開発普及員
	ジャマイカ	エイズ対策
	マーシャル	日本語教師
山口 15名	ヨルダン	保健師
	タンザニア	土木
	ホンジュラス	小学校教諭
	セントビンセント	青少年活動
	セントビンセント	環境教育
	パラオ	小学校教諭
	ガーナ	理数科教師
	マラウイ	体育
	バングラデシュ	村落開発普及員
	インドネシア	料理
	ニジェール	保健師
	ベリーズ	PCインストラクター
セントルシア	コンピューター技術	
ラオス	養殖	
中華人民共和国	日本語教師	

※青年海外協力隊：一般隊員他、一般短期（緊急）隊員、シニア隊員、シニア隊員緊急派遣、調整員、調整員短期を含む。

(2) シニア海外ボランティア新規派遣実績

合計 13名

県名	派遣国	指導科目
鳥取 2名	トンガ	情報・広報
	マーシャル	教育
島根 2名	サモア	畜産
	カンボジア	社会福祉
岡山 3名	マレーシア	情報・広報
	エジプト	社会福祉
	グアテマラ	総合・地域開発計画
広島 3名	中華人民共和国	都市計画・土地造成
	ザンビア	機械工業
	パナマ	教育
山口 3名	アルゼンチン	環境問題
	ホンジュラス	文化
	フィジー	水産加工

(3) 日系社会青年ボランティア新規派遣実績

合計 3名

県名	派遣国	職種
岡山	ブラジル	日本語教師
	ブラジル	日本語教師
	ブラジル	野球

(4) 日系社会シニアボランティア新規派遣実績

合計 1名

県名	派遣国	指導科目
鳥取	ブラジル	庭園技師

平成18年度 草の根技術協力事業実績

(草の根協力支援型)

国名	案件名	実施団体名	実施期間
パラオ共和国	パラオ共和国での学校検診実施のための技術協力	日本パラオ協会	2005.11. 1～2008.10.31
インドネシア	エンレカン県酪農研修センター運営支援プロジェクト	特定非営利活動法人 三瓶スラウェシ友好促進センター	2006. 4. 5～2009. 3.31

(草の根パートナー型)

国名	案件名	実施団体名	実施期間
スリランカ	ワウニア地区基礎保健サービス復興支援事業	特定非営利活動法人 アムダ	2004. 5. 1～2006. 6.30
ミャンマー	コーカン特別地域プライマリーヘルスケアプロジェクト	特定非営利活動法人 アムダ	2004.10. 1～2006. 8.31
中華人民共和国	岡山ー上海高齢者介護教員養成センター	社会福祉法人 旭川荘	2005. 4.15～2008. 3.31
ザンビア	ルサカ市非計画居住地区結核対策プロジェクト	特定非営利活動法人 アムダ	2005. 7. 1～2007.12.31
カンボジア	小学校体育科指導書作成支援プロジェクト	特定非営利活動法人 ハート・オブ・ゴールド	2006. 2. 1～2008. 7.31

(地域提案型)

国名	案件名	実施団体名	実施期間
カンボジア	カンボジア元気な学校プロジェクト	ひろしま平和貢献ネットワーク協議会	2005.11. 1～2008. 3.31
中華人民共和国	威海市個別研修 「環境保全パートナーシップコース」	宇部環境国際協力協会	2006. 2.20～2008. 3.31
中華人民共和国	重慶市との環境保全交流事業	広島市	2006. 9.11～2007. 3.31
中華人民共和国	日中療育技術交流事業	鳥取県立総合療育センター	2006.10.16～2009. 3.31

平成18年度 国際協力キャンペーン/市民講座実績

参加者総数： 24,132名

開催県	市町村	事業名	実施日	会場	共催	後援	対象者	参加人数
鳥取県	鳥取市	世界難民の日 絵画写真展示会	6月20-30日	鳥取県立県民文化会館	難民支援団体ピースバード	—	一般市民	700
	鳥取市	国際交流・貢献セミナー	7月8日	鳥取市国際交流プラザ	鳥取大学(鳥取大学国際交流センター)	—	大学生、一般市民	50
	倉吉市	鳥取県国際理解教育研究会	7月29日	伯耆しあわせの郷	鳥取県海外子女教育・国際理解教育研究協議会	鳥取県教育委員会、倉吉市教育委員会	教育関係者、国際理解教育に関心のある方	38
	鳥取市	乾燥地科学と砂漠化対処に関する国際会議	8月27-28日	鳥取県民文化会館	鳥取大学、鳥取県、国連砂漠化対処条約事務局	—	一般市民	300
	米子市	国際理解セミナー	11月12日	米子市文化ホール	財鳥取県国際交流財団	鳥取県、鳥取県教育委員会	一般市民	21
	鳥取市	国際理解セミナー	1月21日	鳥取県民文化会館	財鳥取県国際交流財団	鳥取県、鳥取県教育委員会	一般市民	22
	鳥取市	タイムセミナー	3月21日	鳥取県民文化会館	タイム(とっとり国際交流連絡会)	—	一般市民	150
鳥根県	松江市	地球時代の学び 実践研究会夏季研修会	8月11日	タウンプラザしまね	鳥根県国際理解教育研究会	—	教育関係者、国際理解教育に関心のある方	60
	松江市	地域国際理解推進事業「多文化共生フォーラム」	12月23日	くにびきメッセ	財しまね国際センター、鳥根県、松江市、松江市国際交流協会	—	一般市民	132
	松江市	JICAボランティア帰国報告会	12月23日	くにびきメッセ	鳥根県	財しまね国際センター、鳥根県青年海外協力隊協会	一般市民	50
	松江市	地域国際理解推進事業「多文化共生講座」	2月10日	松江市国際交流会館	財しまね国際センター、鳥根県、松江市、松江市国際交流協会	—	一般市民	11
	斐川町	JICAボランティア帰国報告会	3月6日	出雲コンピュータ専門学校	鳥根県、斐川町、出雲コンピュータ専門学校	財しまね国際センター、鳥根県青年海外協力隊協会	一般市民	60
岡山県	倉敷市	世界の人々の生活と日本の国際協力	6月10日	ライフパーク倉敷	倉敷市国際交流協会	—	一般市民	62
	岡山市	インターナショナルサロン	6月17日	岡山国際交流センター	財岡山県国際交流協会	—	一般市民	18
			1月20日					26
	岡山市	地球市民講座 「中央アジアとロシア編」 「東南アジア編」 「インド編」	6月21日	岡山国際交流センター	財岡山県国際交流協会	—	一般市民	76
			6月28日					69
			10月4日					65
			10月11日					64
	倉敷市	倉敷市国際理解講座「どうなってるの?世界の国々?」	8月4日	ひろしま国際プラザ	倉敷市国際交流協会	倉敷市	小学生およびその保護者	38
			10月1-2日	イオン倉敷ショッピングセンター	岡山県	—	一般市民	11,000
	岡山市	おかやまESD国際ワークショップ&セミナー	10月13-15日	岡山大学	特定非営利活動法人岡山県国際団体協議会	外務省、文部科学省、環境省、岡山県、岡山市、倉敷市、ACCU、日本ユネスコ協会連盟、日本ユニセフ協会、教育委員会(岡山県、岡山市、倉敷市、)岡山県国際交流協会、岡山県社会福祉協議会、岡山市社会福祉協議会、岡山商工会議所、岡山経済同友会、倉敷商工会議所、岡山県医師会、岡山県教職員組合他	一般市民	500
岡山市	地球市民フェスタinおかやま2006	10月28-29日	岡山国際交流センター	岡山県、財岡山県国際交流協会、(特活)岡山県国際団体協議会	岡山県教育委員会	一般市民	2,000	
		10月29日	岡山国際交流センター	岡山発国際貢献推進協議会	—	岡山発国際貢献推進協議会員	50	
		2月8日~4月25日	岡山国際交流センター	財岡山県国際交流協会、(特活)岡山県国際団体協議会	—	一般市民	550	
広島県	東広島市生涯学習大学システム「JICA市民講座」	4月20日	ひろしま国際プラザ	東広島市	—	高校生以上の一般市民	13	
		5月20日	酒泉館				21	
		6月22日	ひろしま国際プラザ				7	
		10月28日	酒泉館				12	
		11月9日	ひろしま国際プラザ				14	
福山市	国際協力担い手養成講座	6月23日	福山市しんいち市民交流センター	平和貢献NGO'sひろしま	広島県、福山市教育委員会、さるかに共和国、新市町美術新興町民会議、しんいち学区まちづくり推進委員会	大学生、一般市民	80	
東広島市	中国地区開発教育担い手スキルアップ連続講座	7月1-2日	ひろしま国際プラザ	地球市民共育塾ひろしま	NPO法人開発教育協会	開発教育/国際理解教育・国際協力関連領域のキーパーソン	34	
		12月2-3日	ひろしま留学生会館				30	
広島市		2月3日	ひろしま留学生会館				34	

(前項に続く)

期	市町村	事業名	実施日	会場	共催	後援	対象者	参加人数
広島県	広島市	国際協力担い手養成講座	9月9日	広島市まちづくり市民交流プラザ	平和貢献NGO'sひろしま、 財広島市ひと・まちネットワーク	広島県、広島市教育委員会、 財広島平和文化センター	国際協力事業に関心の高い方	158
			9月16日					
			9月23日					
			9月30日					
	東広島市	酒まつり「ひろしま国際ひろば」	10月7-8日	西条駅周辺	—	—	一般市民	820
	東広島市	広島県立尾道東高等学校JICA合宿	10月19-20日	ひろしま国際プラザ	広島県立尾道東高等学校	—	広島県立尾道東高校2年生	41
	東広島市	ひろしま国際プラザ施設公開	10月27日	ひろしま国際プラザ	—	—	一般市民	126
	東広島市	国際理解講座(体験しよう!「世界がもし100人の村だったら」)	11月4日	東広島運動公園体育館	東広島市国際化推進協議会	—	小学生~大人	67
	東広島市	東広島市生涯学習大学システム「市民講座」	11月15日	近畿大学工学部メディアセンター	東広島市教育委員会	—	大学生、一般市民	150
	広島市	国際交流・協力の日	11月19日	広島国際会議場	財ひろしま国際センター、 広島市、財広島平和文化センター	広島県、広島県教育委員会、 広島市教育委員会、広島県PTA連合会、広島市PTA協議会、 広島県高等学校PTA連合会、広島県私立中等高等学校教育後援会	一般市民	5,400
	尾道市	御調中高国際交流セミナー	11月23日	尾道市立御調中学校	尾道市立御調中学校 広島県立御調高等学校	—	御調中学校、御調高等学校生徒	102
	広島市	平和貢献人材育成事業「国際理解セミナー」	12月13日	広島修道大学	財ひろしま国際センター、 広島修道大学国際交流センター、 広島修道大学国際交流サークル	—	広島修道大学学生・ 教職員	35
			12月14日	広島経済大学	財ひろしま国際センター、 広島経済大学国際交流室、 広島経済大学国際交流サークル		広島経済大学学生・ 教職員	35
			2月4日	ひろしま国際センター	財ひろしま国際センター		開発教育に関心のある方、 カンボジアスタディツアー参加者	21
3月11日			カンボジア支援に関わりのある方、 カンボジアスタディツアー参加者				23	
広島市	平和貢献人材育成事業「スタディツアー」	2月19-26日	カンボジア	財ひろしま国際センター	広島県(協力)	18歳以上の広島県民	13	
山口県	山口市	農村開発と地域おこし「やまぐち」から広がる国際協力	6月10-11日	山口大学大学会館大ホール	山口大学 大学院東アジア研究科、 経済学部、東アジアコラボ研究推進体	山口県、山口大学、山口大学エクステンションセンター	一般市民、国際開発学会会員	188
	宇部市	現在そして10年後の国際協力を担う人材育成講座	6月18日	山口大学医学部	山口大学医学部国際医療研究会	財山口県国際交流協会、 山口大学医学部	高校生、大学生、 一般市民	34
			7月9日					48
	山口市	国際理解推進サポーター養成講座(入門編)	6月24日	財山口県国際交流協会 大会議室	財山口県国際交流協会	山口県、山口市、山口県教育委員会、 山口市教育委員会	一般市民	35
			7月29日					26
			8月19日					16
	山口市	山口県国際理解教育研究大会	8月25日	セントコア山口	山口県国際理解教育研究会	山口県教育委員会、 山口市教育委員会、 財山口県国際交流協会	教員、一般市民	69
	山口市	国際理解推進サポーター養成講座(スキルアップ編)	10月8日	財山口県国際交流協会	財山口県国際交流協会	山口県、山口市、山口県教育委員会、 山口市教育委員会	一般市民	22
			10月22日					19
			12月3日					27
	山口市	環境共有楽習塾・地域の環境から地球規模の環境まで	10月15日	セミナーパーク	財防長青年館	—	一般市民	25
	萩市	国際理解推進講座	10月28日	萩市民館	財山口県国際交流協会	山口県、萩市、山口県教育委員会、 萩市教育委員会、 萩市国際交流協議会	一般市民(小学生以上)	3
山口市	国際協力理解参加促進講座「古今東西国際協力トークマッチ」	12月10日	バルトピアやまぐち	山口県国際協力を育てる会	山口県、山口市、 財山口県国際交流協会	中学生以上の一般市民	50	
宇部市	環境国際セミナー	2月13日	宇部市文化会館	宇部環境国際協力協会、 宇部市	—	宇部市民	50	

平成18年度 国際協力出前講座実績

実施総回数： 171件
参加者総数： 14,964名

実施日	県名	派遣依頼団体（ ）内は会場	講演対象者	参加人数	講演内容	講師区分	講師名
4月4日	山口県	ラボ教育センター 春のリーダー養成 合宿実行委員会 (国立山口徳地青少年自然の家)	小学校高学年~高校生	120	実際に国際協力を経験してきた 方々の実体験を聞くことで、交 流だけではない世界との関わり 方を子供達に知ってもらう。	国際協力推進員	磯村祐子
4月13日	山口県	山口大学開発研究会 (山口大学経済学部)	大学生、大学院生	20	セネガルの地理的状況、日 本との関係	国際協力推進員	鈴木博子
4月16日	山口県	ラボ教育センター (山口県新町東公民館)	小学3年生~一般市民	55	開発教育ワークショップ 「世界がもし100人の村 だったら」	国際協力推進員	磯村祐子
4月16日	鳥取県	鳥取大学医学部国際保健友の会 「ハクナマタタ」(鳥取大学医学部)	医学部学生	30	中国の医療の現状、学生の 実習内容、教材作成方法	協力隊OV	安部由紀
4月19日	山口県	山口県立大学、山口大学ユネスコクラ ブ(山口大学)	大学生	20	フェアトレード、環境・開 発・平和	協力隊OV	高見早苗
4月20日	山口県	山口大学東アジア研究会 (山口大学経済学部)	大学生、大学院生、 社会人	20	セネガルでの活動体験談を 通じた現地の事情を理解	国際協力推進員	鈴木博子
4月22日	岡山県	ラボ教育センター (倉敷市立玉島図書館)	小学生~中学生	30	海外ボランティア体験談	協力隊OV 国際協力推進員	藤本裕美 梶田三佐江
4月24日	岡山県	川崎医療福祉大学	大学1年生	230	ボランティア入門	国際協力推進員	白築健
4月25日	鳥取県	鳥取大学医学部国際保健友の会「ハク ナマタタ」(鳥取大学米子キャンパス)	医学部学生	25	JICA事業、青年海外協力隊 の活動	協力隊OV 国際協力推進員	大坪千智 長富邦恵
4月26日	岡山県	笠岡国際交流協会 (笠岡市市民活動支援センター)	高校生以上の市民	30	JICA事業、海外ボランティ ア体験談	国際協力推進員	梶田三佐江
5月9日	広島県	広島インターナショナルスクール	小学5~6年生	20	JICA事業、貧困・飢饉	協力隊OV	内田豊海
5月17日	広島県	福山市立済美中学校	中学3年生	134	海外ボランティア体験談を 通じて自己の生き方を探求	協力隊OV	血海博信
5月18日	広島県	広島女学院大学	大学2年生	60	ボランティアについての基 礎知識や心構え	JICA職員	木梨陽子
5月20日	岡山県	和気町国際交流協会 (和気町総合福祉センター)	和気町国際交流協会会 員	30	文化・風習の違いを知り、 国際理解を深める。	協力隊OV	万代ユミ
5月22日	広島県	如水館高等学校	高校1~3年生	969	創立記念式典記念講演、開発途 上国の子供達の姿と青年海外 協力隊の活動から国際協力の 必要性を知り、自分達でできる ボランティアについて考える。	国際協力推進員	白築健
5月24日	岡山県	岡山県立岡山操山高等学校	高校1年生	186	「未来航路プロジェクト」 の一環として、国際協力とは 何かを考える。	協力隊OV	藤本裕美
5月25日	広島県	広島女学院大学	大学2年生	60	ボランティアについての基 礎知識や心構え	協力隊OV	西守由紀子
5月26日	広島県	広島県立呉昭和高等学校	高校1~2年生	184	「職業探求」をテーマに、 職業を通して社会に貢献す る事についての講演。	協力隊OV	山城亮介
5月27日	広島県	広島文教女子大学	大学3~4年生	15	「国際協力論」国際協力の 現場の問題	協力隊OV	八杉和子
6月1日	岡山県	岡山市立平福小学校	小学6年生	101	自分に出来る国際協力実践、 世界の子ども達のくらしの現 実や国際支援に取り組んでい る団体の活動を知る。	協力隊OV	永田晶子
6月13日	広島県	広島市立五日市小学校	小学5年生	134	世界には様々な国がある事 を知り、世界の為に自分達 に何が出来るかを考える。	国際協力推進員	白築健
6月13日	山口県	山口県立下関南高等学校	高校2年生	153	海外ボランティア体験談 (参加理由、海外生活、帰国 後の変化)、ワークショップ	国際協力推進員	磯村祐子
6月16日	広島県	広島市立祇園中学校	中学3年生、保護者	240	国際理解と共生のオリエン テーション	国際協力推進員	磯村祐子 白築健
6月22日	鳥取県	琴浦町立浦安小学校	小学4年生	47	総合的な学習：テーマ「夢 に向かって」~働く喜び~	協力隊OV	佐々木由希
6月22日	広島県	広島市立牛田新町小学校	小学6年生	76	海外ボランティア体験談、 原爆展の様子を聞き、平和 について考える。	協力隊OV	小坂法美
6月22日	山口県	岩国市立祖生西小学校	保育所職員、小中学校 教員、公民館職員他	30	「地域から見た人権、世界か ら見た人権」国際社会にも 通用する人権感覚を養う。	協力隊OV	高見早苗
6月25日	岡山県	勸日本ユニセフ協会岡山県支部 (NHKデジタルミュージアム講堂)	一般市民	50	11月開催のアフリカ写真 展を前に、アフリカ支援に ついて学習。	国際協力推進員	梶田三佐江
6月26日	奈良県	天理大学	大学2~4年生	140	現代世界が抱える諸問題、 それに対してどのように向 かい合っていくべきか自己 の生き方を見つめる。	国際協力推進員	梶田三佐江
6月28日	広島県	三原市立本郷中学校	中学3年生	100	ワークショップ「世界が もし100人の村だったら」 (JICA中国施設見学に向 けての事前学習)	国際協力推進員	磯村祐子
6月30日	岡山県	岡山県立玉野高等学校	高校1年生(国際科)	40	「国際ボランティアについ て考える」日本の国際貢献、 ボランティアの実際とその あり方についての理解・考 えを深める。	協力隊OV	朝西英文

(前項に続く)

実施日	県名	派遣依頼団体()内は会場	講演対象者	参加人数	講演内容	講師区分	講師名
6月30日	広島県	尾道市立長江中学校	中学生(総合的な学習で「国際理解」選択者)	30	総合的な学習「国際理解講座」メキシコで活動したOVの話の聞き、事前学習で用意した質問をする。日本理解と異文化理解を考える。	日系社会青年ボランティアOV	奥田麻衣
7月3日	島根県	出雲町国際交流協会(雲州そば伝産業会館)	一般市民	60	JICA事業、海外ボランティア体験談	国際協力推進員	長富邦恵
7月4日	広島県	広島市立牛田新町小学校	小学1~6年生	400	海外ボランティア体験談、原爆展の様子を聞き、平和について考える。	協力隊OV	小坂法美
7月5日	広島県	広島県立西条養護学校	小学部1年生~高等部3年生	52	海外の人々から見た日本、世界の平和を築くために。	国際協力推進員	磯村祐子
7月6日	島根県	出雲市立湖陵中学校	中学3年生	58	総合学習テーマ「ボランティア」海外ボランティア体験談	協力隊OV	岸幹人
7月6日	広島県	広島市立大学	大学生、大学院生	50	キャリア形成セミナー(国際的な分野での活動・行動のきっかけとする)	協力隊OV 国際協力推進員	茶山和恵 磯村祐子
7月6日	鳥取県	鳥取大学IFAサークル(鳥取大学)	IFAサークルメンバー	30	JICA事業、青年海外協力隊の活動	協力隊OV	佐々木由希
7月10日	鳥取県	三朝町立西小学校	小学6年生	50	総合的な学習「社会を支える人々から学ぼう~みんなと生きる・よりよく生きる~」	協力隊OV	佐々木由希
7月13日	広島県	広島市立織町小学校	小学2年生	72	海外ボランティア体験談	協力隊OV	小坂法美
7月13日	広島県	三原市立幸崎中学校	中学生全校生徒	100	海外ボランティア体験談	協力隊OV	奥田麻衣
7月14日	広島県	竹原市立賀茂川中学校	中学3年生	34	フータンでの海外ボランティア体験談	協力隊OV	小長谷雅子
7月15日	広島県	地球市民共育塾ひろしま(広島平和文化センター)	学生・社会人	20	原爆展の経験談やその様子	協力隊OV	小坂法美
7月20日	岡山県	岡山県高等学校女子保健体育科教員有志の会(岡山県立鳥城高等学校)	岡山県内高等学校の女子保健体育科教員	30	海外ボランティア体験談	協力隊OV	山谷裕美 上村弘子
7月21日	島根県	シマネスクくにびき学園(いきいきプラザ島根)	シマネスクくにびき学園会員	114	「国際協力について知ろう」高齢者がさらに幅広い知識を身につけ、生きがいを得るとともに、社会貢献のための資質向上を目指す講座。	日系社会シニアボランティアOV 国際協力推進員	荒木澄夫 長富邦恵
7月25日	広島県	福山市教育委員会(福山市研修センター)	福山市立小学校および中学校教諭	46	JICA事業、ワークショップ「貿易ゲーム」「レヌカの学び」	国際協力推進員	梶田三佐江 白染健
8月2日	岡山県	西大寺中学校区保幼小中人権同和教育推進協議会(西大寺ふれあいセンター)	教職員	100	海外ボランティア体験談:人権について	国際協力推進員	梶田三佐江
8月8日	岡山県	岡山県国際交流協会(岡山国際交流センター)	岡山県国際交流協会運営委員	30	いろいろな国についての見聞を広めるための講演	国際協力推進員	梶田三佐江
8月9日	岡山県	倉敷市立中央図書館	小学3年生以上	30	ワークショップ「世界がもし100人の村だったら」	協力隊OV 国際協力推進員	山谷裕美 梶田三佐江
8月10日	岡山県	岡山県企画振興部国際課(岡山国際交流センター)	高校生	6	カンボジアスタディツアー事前学習	国際協力推進員	梶田三佐江
8月22日	広島県	広島大学生物圏科学研究科	大学生・院生・教職員	60	乾燥地農業の実態と活性化を目指したJICAの協力	JICA国際協力専門員	中林一夫
8月24日	広島県	呉市立川尻中学校	中学3年生	99	海外ボランティア体験談	協力隊OV	池田尚子 平野泰子 出崎直美
9月4日	広島県	広島市立祇園東中学校	中学3年生	150	総合的な学習「国際理解」:共に生きる平和な社会をめざして	国際協力推進員	磯村祐子
9月10日	島根県	ラボ教育センター(さんびーの出雲)	幼児~大人	60	ワークショップ「世界がもし100人の村だったら」	国際協力推進員	長富邦恵 磯村祐子
9月18日	島根県	島根県文化国際課(島根県職員会館)	大学生、社会人	10	島根県「2006青年交流の翼・中国プログラム」事後研修において国際交流団体の活動紹介および意見交換会	国際協力推進員	長富邦恵
9月20日	広島県	東広島市立高美が丘小学校	小学6年生	172	総合的な学習「国際理解」海外ボランティア体験談	日系社会青年ボランティアOV 協力隊OV	奥田麻衣 藤島一枝
9月22日	広島県	府中市上下公民館	老人大学受講生	70	老人大学での講演。志望動機、現地での活動体験談、当時に振り返って。	協力隊OV	細川光宣
9月25日	岡山県	倉敷市立南中学校	中学1年生	280	「せかいのなかま」海外の国の生活・文化・考え方	協力隊OV	松下幸司
9月26日	島根県	島根県立大社高等学校	高校1年生(普通科、体育科)	14	総合的な学習「自分の生き方(働き方)について考える」	協力隊OV	桑野香奈
9月26日	島根県	海士町立海士小学校	小学1~6年生、保護者	50	カンボジアでの海外ボランティア体験談	シニア海外ボランティアOV	坂田優子
9月26日	島根県	西ノ島町国際交流協会(西ノ島町商工会)	中学生	75	講演テーマ「身近に感じる国際協力」	国際協力推進員	長富邦恵
9月28日	鳥取県	八頭町立中央中学校	中学2年生	14	選択授業(英語)の時間において国際理解学習。フォトランゲージキット使用。	国際協力推進員	花岡潤
9月29日	岡山県	岡山県立勝山高等学校	高校2年生(普通科、商業科)	159	ワークショップ「世界がもし100人の村だったら」、海外ボランティア体験談	協力隊OV	岡本俊則 三村良平 錦織拓美
9月29日	岡山県	岡山県立日本原高等学校	高校3年生	50	世界の文化の多様性と日本との違いや共通点	国際協力推進員	梶田三佐江
9月29日	広島県	広島市立城南中学校	中学3年生	222	パプアニューギニアの話	協力隊OV	征本伸悦

(前項に続く)

実施日	県名	派遣依頼団体()内は会場	講演対象者	参加人数	講演内容	講師区分	講師名
10月2日	鳥根県	奥出雲町立横田中学校	中学生	26	バンラデシュでの協力隊体験談	国際協力推進員	長富邦恵
10月2日	鳥取県	八頭町立中央中学校	中学1年生	120	アクティビティ「世界がもし100人の村だったら」	国際協力推進員	花岡潤
10月2日	山口県	宇部市立藤山中学校	中学3年生	118	「私たちにできるボランティア活動」国際協力・支援をテーマにした内容	協力隊OV	水野雅子
10月3日	鳥根県	シマネスクくにびき学園西部校(いわみーる)	60歳以上の高齢者	55	海外ボランティア体験談	国際協力推進員	長富邦恵
10月4日	広島県	広島県立御調高等学校	高校1年生	55	海外ボランティア体験談、ワークショップ「世界がもし100人の村だったら」	国際協力推進員	白築健
10月6日	山口県	山口県立西京高等学校	高校1年生	20	さまざまな方面で活躍されている方々の職業観	協力隊OV	高見早苗
10月10日	広島県	東広島市高屋地区民生委員児童委員協議会(高屋福祉センター)	民生委員、児童委員協議会の委員	38	海外ボランティア体験談(特に福祉分野)	協力隊OV	米澤みさお
10月12日	鳥根県	出雲市立浜山中学校	中学1年生	37	参加型アクティビティ	国際協力推進員	長富邦恵
10月13日	岡山県	岡山県立岡山南高等学校	高校2年生	160	海外ボランティア体験談	協力隊OV	塩飽康利、村上朋子、谷智仁、笹辺一雄
10月13日	山口県	山口市立平川中学校	中学1年生	17	総合講座「国際理解」：海外ボランティア体験談	国際協力推進員	鈴木博子
10月22日	岡山県	津山国際交流の会(鏡野町ベスタロッジ館)	一般市民	50	海外ボランティア体験談	国際協力推進員	荻野晃子
10月24日	広島県	広島市立東原中学校	中学3年生と保護者	200	国際文通週間にちなみ海外ボランティアの話聞く。	日系社会青年ボランティアOV 国際協力推進員	奥田麻衣 磯村祐子
10月27日	岡山県	岡山県立岡山南高等学校	高校2年生	160	海外ボランティア体験談	協力隊OV	村上朋子、万代ユミ、崎谷由紀子、塩飽康利
10月27日	山口県	下関市教育委員会(下関市立川中公民館)	下関市立各小・中・高等学校教員	30	海外ボランティア体験談	国際協力推進員	鈴木博子
10月30日	鳥取県	鳥取市立国府東小学校	小学6年生	21	海外ボランティア体験談：動機、活動内容、任国の暮らし	協力隊OV	佐々木由希
10月31日	広島県	広島市立清和中学校	中学3年生	36	JICAの活動(海外文通のきっかけ作り)	協力隊OV	浜部直樹
11月1日	鳥根県	松江市立湖南中学校	中学3年生	35	子どもたちの生活や日本の援助の様子(外国の人々の生活を知る)	国際協力推進員	長富邦恵
11月5日	鳥取県	タイム(とっとり国際交流連絡会)(鳥取県民文化会館)	一般市民	27	ラオスの国事情	協力隊OV	佐々木由希
11月6日	岡山県	岡山県立岡山南高等学校	高校3年生(家政科で「食文化」選択者)	25	テーマ「食文化」民族による食事の違い、宗教による食習慣を理解し、異文化の食生活に関心を持たせる。	国際協力推進員	梶田三佐江
11月7日	山口県	平生町立平生中学校	中学3年生	108	異文化理解	国際協力推進員	鈴木博子
11月8日	岡山県	岡山県立総社南高等学校	高校2年生(国際系)	79	国際理解教育：海外ボランティア体験談(国際協力、任国の様子)	協力隊OV	小林勉
11月8日	鳥根県	松江市立湖南中学校	中学3年生	35	ワークショップ「世界が35人の村だったら」	国際協力推進員	長富邦恵
11月8日	広島県	広島市立口田東小学校	小学6年生、保護者	102	国際理解ワークショップ	国際協力推進員	磯村祐子
11月9日	鳥根県	浜田ロータリークラブ(浜田ニューキャッスルホテル)	ロータリークラブ会員	58	JICA事業、海外ボランティア体験談	国際協力推進員	長富邦恵
11月9日	広島県	広島市立翠町中学校	中学1年生	30	働くことの意義や自分の生き方について考える。	国際協力推進員	磯村祐子
11月10日	鳥根県	鳥根県立出雲農林高等学校	高校生	10	農業祭りのために途上国のことや料理を学ぶ。	国際協力推進員	長富邦恵
11月11日	広島県	広島市立温品小学校	小学6年生、保護者	131	海外ボランティア体験談(参観日)	日系社会青年ボランティアOV	奥田麻衣
11月11日	鳥根県	出雲市立多伎中学校	中学生	10	文化祭での体験活動「国際理解」における講演	協力隊OV	桑野香奈
11月11日	鳥根県	インターアクトクラブ(旅館三好家)	高校1~2年生	50	参加型アクティビティ	協力隊OV 国際協力推進員	斉藤徳義 長富邦恵
11月12日	山口県	小さな親切運動由宇町支部(由宇町文化会館)	一般市民	70	海外ボランティア体験談	国際協力推進員	鈴木博子
11月13日	岡山県	倉敷市立乙島小学校	小学4年生	92	タンザニアの様子：衣装、食べ物、踊り	国際協力推進員	梶田三佐江
11月14日	山口県	嘉川地区老人クラブ連合会(嘉川公民館)	老人クラブ会員	75	海外ボランティア体験談	国際協力推進員	鈴木博子
11月15日	岡山県	岡山県立新見高等学校	高校1~2年生	231	海外ボランティア体験談	国際協力推進員	梶田三佐江
11月16日	広島県	呉市立呉高等学校	高校1年生	160	「生きがい講演会」海外ボランティア体験談	国際協力推進員	白築健
11月16日	広島県	広島県立賀茂高等学校	高校1年生	25	JICA事業	JICA職員	木梨陽子
11月16日	岡山県	岡山市立岡北中学校	中学3年生	168	国際交流講座	国際協力推進員	梶田三佐江
11月17日	岡山県	岡山市立高島中学校	中学3年生	190	海外ボランティア体験談	協力隊OV	蜂谷久美子
11月17日	山口県	周南市立秋月中学校	中学生、保護者	240	テーマ「共生」：人権教育の授業参観にて	協力隊OV	水野雅子

(前項に続く)

実施日	県名	派遣依頼団体()内は会場	講演対象者	参加人数	講演内容	講師区分	講師名
11月18日	鳥取県	倉吉北高校インターアクトクラブ (伯耆しあわせの郷)	インターアクト部員	48	アクティビティ「世界がもし100人の村だったら」、ワークショップ「もし青年海外協力隊員だったら」、海外ボランティア体験談	協力隊OV 国際協力推進員	佐々木由希 樽大亮 高島博子 花岡潤 長富邦恵
11月21日	島根県	島根大学教育学部附属中学校	中学1年生	20	総合的な学習テーマ「さまざまな生き方を学ぶ」	国際協力推進員	長富邦恵
11月22日	広島県	呉東ロータリークラブ (シティプラザSUGIYA)	ロータリークラブ会員	53	途上国における「清潔な水」の不足についての情報、またそれに対するJICAの支援および成果。	協力隊OV	佐上裕俊
11月22日	岡山県	岡山県立御津高等学校	高校1年生	160	海外ボランティア体験談	協力隊OV	三村良平
11月22日	山口県	周防大島町立三蒲小学校	教職員	11	国際理解教育の校内研修：参加型アクティビティ、外国事情	協力隊OV 国際協力推進員	高見早苗 鈴木博子
11月24日	島根県	松江市立城北小学校	小学6年生	108	体験総合活動「レッツチャレンジ 国際協力!」	協力隊OV 国際協力推進員	池田潤 長富邦恵
11月24日	山口県	下関市立豊浦小学校	小学2年生、保護者	45	グローバルな視野となるための低学年用ファーストステップな話題	国際協力推進員	鈴木博子
11月28日	広島県	福山市立明王台小学校	小学6年生	84	ワークショップ「世界がもし100人の村だったら」	国際協力推進員	白築健
11月29日	広島県	広島県立府中東高等学校	高校3年生	215	社会人講演会「広い視野と人生の生きがい」	協力隊OV	藤井富美
11月30日	島根県	日本語ボランティアグループ「だんだん」(島根県立青少年の家サンレイク)	日本語講師	15	海外ボランティア体験談	国際協力推進員	長富邦恵
11月30日	広島県	ノートルダム清心中学校	中学2年生	182	国際社会に貢献する意欲を高める。異文化の相互理解を通じ、支えあう心を育む。	協力隊OV 国際協力推進員	石田真実 内田豊海 磯村祐子 白築健
12月1日	岡山県	倉敷市立玉島高等学校	高校生	40	総合的な学習における国際理解教育	国際協力推進員	梶田三佐江
12月3日	島根県	バングラデシュ女子学生支援チャリティ実行委員会(ウィーナス・ガーデン)	成人	70	バングラデシュの就学事情	国際協力推進員	長富邦恵
12月5日	岡山県	岡山市立豊小小学校	小学6年生	60	海外ボランティア体験談	国際協力推進員	梶田三佐江
12月5日	山口県	宇部市立琴芝小学校	小学5年生	73	世界の米作り	協力隊OV	荒瀬澄枝
12月7日	岡山県	岡山県高等学校教育研究会人権・同和教育部会備中支部(国民宿舎良寛荘)	高校教員	55	開発途上国の教育事情	国際協力推進員	梶田三佐江
12月7日	山口県	周防大島町立三蒲小学校	小学3年生	11	セネガルの暮らしや文化	国際協力推進員	鈴木博子
12月8日	鳥取県	鳥取市立高草中学校	中学1~3年生	23	キャリア教育のための講演：海外ボランティア体験談	協力隊OV	久保貴史
12月13日	岡山県	倉敷市立船穂中学校	高校生	228	主体的に社会に参加・貢献する事の重要性を理解する。	国際協力推進員	梶田三佐江
12月13日	広島県	広島修道大学人間環境学部	大学1~3年生	65	「環境スペシャリスト養成講座」環境分野におけるキャリア形成	協力隊OV	上田文枝
12月15日	広島県	広島市立久地南小学校	小学6年生	43	「ガーナを知る」ガーナの生活(住居、服装、食事、言葉)とガーナへの援助について学ぶ。	JICA職員	渋谷和朗
12月18日	岡山県	ノートルダム清心女子大学	大学1年生	230	「ボランティア学Ⅰ」国際ボランティア体験談	協力隊OV	村上朋子
12月21日	広島県	広島市立大塚小学校	小学6年生	152	海外ボランティア体験談	協力隊OV	平野泰子
12月21日	山口県	山口県立大学	大学生	36	「国際援助論」の一環としての青年海外協力隊体験談	協力隊OV	高見早苗
12月21日	鳥取県	鳥取市立福部中学校	中学1~3年生	15	「福部中生き方セミナー」海外ボランティア体験談	国際協力推進員	花岡潤
1月12日	岡山県	岡山大学大学院社会文化科学研究科(法学部)	大学2~4年生	45	「国際機構法」授業の一環としての海外ボランティア体験談	国際協力推進員	梶田三佐江
1月12日	広島県	広島県立神辺高等学校	高校1年生	125	JICA事業、ODA事業	JICA職員	渋谷和朗
1月16日	広島県	庄原市立高野中学校	中学3年生	20	海外ボランティア体験談：自分達にできること、真の協力と調和	協力隊OV	小林努
1月17日	岡山県	倉敷高等学校	高校2~3年生(ビジネス系、国際文化系)	50	海外ボランティア体験談：なぜ国際協力が必要なのか。	協力隊OV	高橋和芳
1月18日	広島県	福山市立大谷台小学校	小学3~6年生	115	海外ボランティア体験談	協力隊OV	石井壮
1月19日	広島県	広島県立神辺高等学校	高校1年生	102	「産業社会と人間」海外ボランティア体験談	協力隊OV 国際協力推進員	羽籠広太、山城亮介、大木健一、鈴木智昇、安田真記 白築健
1月21日	山口県	ラボ教育センター角田パーティ(光青年の家)	8~18歳、その保護者	100	海外ボランティア体験談、開発教育ワークショップ	国際協力推進員	鈴木博子
1月23日	山口県	山口市立二島小学校	小学5年生	22	児童労働の実態、フェアトレードについてと試食	協力隊OV	高見早苗
1月25日	広島県	廿日市中学校	中学1年生	163	「異文化理解講座」海外ボランティア体験談	協力隊OV	東英伸
1月26日	岡山県	岡山県立玉野高等学校	高校1~2年生	80	JICA事業、ワークショップ	国際協力推進員	梶田三佐江

(前項に続く)

実施日	県名	派遣依頼団体()内は会場	講演対象者	参加人数	講演内容	講師区分	講師名
1月30日	岡山県	岡山県立備前緑陽高等学校	高校1年生	160	「産業社会と人間」で海外ボランティア体験談	国際協力推進員	梶田三佐江
1月30日	島根県	安来市立伯太中学校	中学3年生	44	社会科公民分野「国際問題と地域市民」	国際協力推進員	長富邦恵
1月30日	広島県	広島市立梅林小学校	小学6年生	123	ワークショップ「世界がもし100人の村だったら」	国際協力推進員	磯村祐子
2月2日	島根県	松江市立古志原小学校	小学5年生	130	Bangladesh の生活、言語、子どもたちの暮らし、学校生活	国際協力推進員	長富邦恵
2月6日	鳥取県	伯耆町立岸本小学校	小学4年生	59	Bangladesh の文化や生活	国際協力推進員	長富邦恵
2月6日	山口県	山口市立鴻南中学校	中学1~2年生	480	異文化理解や世界平和等の道徳的価値を高める	国際協力推進員	鈴木博子
2月7日	広島県	広島市立翠町小学校	小学6年生	97	海外ボランティア体験談、ワークショップ	国際協力推進員	磯村祐子
2月8日	島根県	浜田市立第一中学校	中学3年生	200	海外ボランティア体験談	国際協力推進員	長富邦恵
2月9日	岡山県	倉敷市立旭丘小学校	小学6年生	65	総合学習「外国の文化にふれよう」海外ボランティア体験談	国際協力推進員	梶田三佐江
2月13日	山口県	岩国市教育委員会(美和支所)(美和文化会館)	一般市民、教職員	30	「人権について考える学習講座」国際理解に関わる人権問題	国際協力推進員	鈴木博子
2月14日	山口県	下関市立樋崎小学校	保護者および教職員	20	人権教育	国際協力推進員	鈴木博子
2月15日	鳥取県	八頭町立中央中学校	中学1年生	30	「職業人に学ぶ」参加動機、任国事情、体験談等	協力隊OV	後藤法子
2月16日	岡山県	赤磐市立赤坂中学校	中学2年生、保護者	90	海外ボランティア：ボランティアに対する日本との違いや問題点	国際協力推進員	梶田三佐江
2月16日	鳥取県	倉吉市立久米中学校	中学2年生	10	「国際理解講座」海外ボランティア体験談、生徒たちからの日本の伝統的な文化・芸能の出し物	協力隊OV	中嶋伸子
2月16日	岡山県	岡山県立西大寺高等学校	高校1~2年生(国際情報科)	90	海外ボランティア体験談(異文化交流体験報告会)	協力隊OV	三村良平
2月16日	広島県	県立広島大学	大学1~2年生	30	広島模範国連大会(水問題、環境問題、国際協力やODAはどうあるべきか、なぜ援助するのか、援助は無償か有償か)	JICA職員	澁谷和朗
2月19日	鳥取県	八頭町立中央中学校	中学3年生	52	ワークショップ「新貿易ゲーム」	国際協力推進員	花岡潤
2月20日	鳥取県	八頭町立中央中学校	中学3年生	52	ワークショップ「新貿易ゲーム」	国際協力推進員	花岡潤
2月20日	広島県	安芸高田市立向原中学校	中学2年生	45	総合的な学習「国際理解」海外ボランティア体験談	協力隊OV	大久保理恵 石井壮
2月20日	広島県	広島市立亀崎小学校	小学6年生	70	海外ボランティア体験談：国際貢献について、日本を見つめ直す。	日系社会青年ボランティアOV	奥田麻衣
2月21日	広島県	広島県立三原高等学校	高校2年生、保護者	200	「社会のためにできること」途上国支援の現状、海外ボランティア体験談	協力隊OV	石津智久
2月22日	島根県	松江市立雑賀小学校	小学6年生	76	社会科「世界の平和と日本の役割~世界で活躍する人を招いて~」	協力隊OV	山下雅香子
2月23日	広島県	広島市立牛田新町小学校	小学6年生	76	「世界で活躍する日本人」海外ボランティア体験談、任国での原爆展と平和	協力隊OV	仁井勇佑
2月23日	岡山県	鏡野町シニアスクール(鏡野町教育委員会)(鏡野町立鏡野中学校)	シニアスクール受講者	16	海外ボランティア体験談(ブラジルの日系社会、アマゾンの自然と開発)	協力隊OV	原規子
2月26日	鳥取県	鳥取県東部地区高等学校地歴公民教育研究協議会(わらべ館)	高校の地歴公民担当者	50	海外ボランティア体験談、アフリカの伝統音楽	協力隊OV	大嘉麻子
3月1日	島根県	松江市立佐太小学校	小学6年生	14	JICA事業、 Bangladesh のこと：人々の生活、子供たちの日常、日本とのかかわり	国際協力推進員	長富邦恵
3月4日	広島県	コスタリカを知る会(女性教育センター)	会員	50	海外ボランティア体験談：コスタリカの環境問題	協力隊OV	村上加枝
3月6日	広島県	北広島町立豊平南小学校	小学6年生	14	世界で活躍する日本人や日本の役割について	協力隊OV	大木健一
3月8日	島根県	あすなる会(なごやか事業)(矢の原会館)	高齢者	21	海外ボランティア体験談	日系社会シニアボランティアOV	荒木澄夫
3月11日	山口県	祥雲寺料理教室	一般会社員	20	料理教室：様々な国の料理を作り、その国の文化・歴史・現状を学ぶ	国際協力推進員	鈴木博子
3月12日	岡山県	金光学園中学・高等学校	高校2年生	230	国際理解を通しての人権教育	国際協力推進員	梶田三佐江
3月18日	広島県	呉市国際交流協会(つばき会館)	呉市国際交流協会会員および一般市民	33	海外ボランティア体験談	協力隊OV	平野泰子
3月20日	岡山県	鏡野町立鏡野中学校	中学1~2年生	175	海外ボランティア体験談	日系社会青年ボランティアOV	原規子
3月24日	広島県	広島市楽々園公民館	小学生	8	「世界のともだちこんにちわ」異文化理解ワークショップ、世界の子どもの話	国際協力推進員	磯村祐子

平成18年度 JICA中国施設見学(異文化体験教室) 受入実績

訪問総件数：30件
訪問者総数：952名

実施日	県名	訪問団体	訪問者	訪問者数	内容	講師区分	講師名
4月25日	広島県	福山市立福山中学校	中学3年生	124	JICA事業紹介、就職体験談、海外ボランティア体験談、ワークショップ(世界がもし100人の村だったら)	JICA職員 JOCA職員 JOCV OV	澁谷和朗 堀田直揮 堀田映子 血海博信
6月5日	広島県	東広島市立西条中学校	中学1~3年生	15	JICA事業紹介、施設見学、ワークショップ(世界を知ろう)、海外ボランティア体験談	JICA職員 JOCA職員	澁谷和朗 堀田直揮
6月9日	広島県	東広島市立御園宇小学校	小学2年生	13	施設見学、民族衣装・楽器体験	JICA職員 JOCA職員	澁谷和朗 細川光宜
6月15日	広島県	東広島市社会福祉協議会	高齢者	35	JICA事業紹介、ワークショップ(フォトランゲージ)、海外ボランティア体験談	JICA職員 JOCA職員 HIC職員	澁谷和朗 地守ひずる 堀田直揮 福原浩明
7月4日	広島県	広島大学日本語教育コース	大学3年生	12	JICA事業紹介、施設見学、海外ボランティア体験談	JICA国内協力員 JOCA職員	木南圭映子 細川光宜
7月12日	広島県	広島大学生物生産学部	大学1年生	23	JICA事業紹介、施設見学	JICA職員 JOCA職員	木梨陽子 細川光宜
7月14日	広島県	三次市立布野中学校	中学1年生	16	JICA事業紹介、海外ボランティア体験談、ワークショップ(フォトランゲージ)	JICA職員 JOCA職員	澁谷和朗 細川光宜
7月19日	広島県	三原市立本郷中学校	中学3年生	105	JICA事業紹介、施設見学、海外ボランティア体験談、ワークショップ	JICA職員 JOCA職員	澁谷和朗 地守ひずる 細川光宜 上田文枝
7月20日	広島県	広島大学教育学研究科	大学院1年生	18	JICA事業紹介、ODA事業について	JICA職員 JOCA職員	澁谷和朗 地守ひずる
7月21日	広島県	広島大学留学生センター	短期交換留学生	2	施設見学、JICA事業紹介、日本の教育協力の現状	JICA職員 JOCA職員	澁谷和朗 地守ひずる
7月24日	広島県	広島県立広高等学校	高校1年生(国際文理コース)	39	JICA事業紹介、施設見学、海外ボランティア体験談、ワークショップ(フォトランゲージ)	JICA職員 JOCA職員	澁谷和朗 細川光宜 上田文枝
8月4日	岡山県	倉敷市国際交流協会	小学生とその保護者	33	JICA事業紹介、施設見学、ワークショップ(民族衣装当てクイズ等)	JICA市民参加 協力調整員 JOCA職員	名村欣哉 細川光宜 上田文枝
8月8日	広島県	熊野町教育研究協議会国際理解教育部	小中学校教員	15	JICA事業紹介(開発教育支援事業について)、海外ボランティア体験談、ワークショップ(フォトランゲージ)	JICA職員 JOCA職員	辻野博司 地守ひずる 上田文枝
8月10日	広島県	東広島市立松賀中学校	中学3年生	94	JICA事業紹介、ワークショップ(世界がもし100人の村だったら)	JICA職員 JOCA職員	澁谷和朗 地守ひずる 細川光宜 上田文枝
8月11日	岡山県	AMD A高校生会	高校生	7	JICA事業紹介、ワークショップ(フォトランゲージ)	JICA市民参加 協力調整員 JOCA職員	名村欣哉 細川光宜
8月29日	広島県	広島県立大和高等学校	高校生(英語クラブ)	5	海外ボランティア体験談	JOCA職員	細川光宜
9月29日	広島県	三次市立灰塚小学校	小学1~4年生	17	JICA事業紹介、施設見学、民族衣装・民族楽器体験	JICA職員 JOCA職員	澁谷和朗 上田文枝
9月29日	広島県	尾道市立三成小学校	小学5年生	52	JICA事業紹介、施設見学	JICA職員 JOCA職員	澁谷和朗 細川光宜 上田文枝
10月13日	広島県	安芸高田市立甲田中学校	中学1年生	53	JICA事業紹介、施設見学、海外ボランティア体験談、ワークショップ(フォトランゲージ)	JICA職員 JOCA職員	澁谷和朗 細川光宜 上田文枝
10月17日	広島県	東広島市立御園宇小学校	小学4年生	51	JICA事業紹介、民族衣装・楽器体験	JICA職員	澁谷和朗
11月8日	広島県	三次市立田幸小学校	小学5年生	16	JICA事業紹介、民族衣装・楽器体験、ワークショップ	JICA職員 JOCA職員	澁谷和朗 細川光宜
11月9日	広島県	広島県立広島高等学校	高校1年生	37	JICA事業紹介、海外ボランティア体験談、施設見学	JICA職員 JOCA職員	澁谷和朗 上田文枝

(前項に続く)

実施日	県名	訪問団体	訪問者	訪問者数	内容	講師区分	講師名
11月12日	広島県	東広島短歌会「真樹」	会員	6	JICA事業紹介、施設見学	JICA職員	岩崎 薫
11月15日	広島県	近畿大学附属福山中学校	中学3年生	24	JICA事業紹介、施設見学、 海外ボランティア体験談	JICA職員 JOCA職員	澁谷和朗 細川光宣 上田文枝
12月2日	広島県	広島国際大学心理科学部	大学生	29	JICA事業紹介、施設見学、 研修員との交流	JICA職員 JOCA職員	澁谷和朗 細川光宣
2月6日	広島県	三次市立栗屋小学校	小学6年生	17	JICA事業紹介、海外ボラ ンティア体験談、施設見学	JICA職員 JOCA職員	澁谷和朗 細川光宣
2月16日	広島県	安芸高田市立向原中学校	中学2年生	49	JICA事業紹介、施設見学、 民族衣装・楽器体験、ワー クショップ	JOCA職員	細川光宣 上田文枝
2月22日	広島県	安芸高田市立美土里中学校	中学3年生	27	JICA事業紹介、施設見学、 海外ボランティア体験談	JICA職員 JOCA職員	澁谷和朗 細川光宣
2月7日	石川県	石川県青年海外協力隊を支援する会	会員	4	施設見学、JICA職員との 意見交換	JICA職員 JOCA職員	生井年緒 他 細川光宣
3月14日	広島県	手話サークル藤	会員	14	JICA事業紹介、施設見学、 民族衣装体験	JICA職員 JOCA職員	澁谷和朗 細川光宣

平成18年度 教師海外研修実績

応募者：21名
派遣教師：16名

国内事前研修	海外研修期間	国内事後研修	派遣国	氏名	都道府県名	学校名
第1回 5/28 第2回 6/17~6/18 第3回 7/29	7/30~8/11	第1回 9/30~10/1	ケニア (8名)	青木千穂子	鳥取県	鳥取県米子市立伯仙小学校
				吉野 雅子	鳥取県	米子市立住吉小学校
				坂井 務	鳥根県	美郷町立邑智小学校
				尾原 美香	鳥根県	鳥根県立松江工業高等学校
				河本 弘志	岡山県	真庭市立遷喬小学校
				蒔田 恵子	岡山県	岡山県立岡山南高校
				中山富美子	広島県	広島市立大塚小学校
				池本 順子	山口県	周防大島町立三蒲小学校
		第2回 1/27	ガーナ (8名)	西村 茂樹	鳥取県	鳥取市立福部中学校
				岡上 美紀	広島県	広島市立観音小学校
				内藤 丞	広島県	広島市立久地南小学校
				長原 恵子	広島県	呉市立広小学校
				中村麻奈美	広島県	呉市立横路中学校
				嶺川 幸人	広島県	広島県立祇園北高等学校
				時広美佐恵	山口県	周南市立勝間小学校
				堀江 新子	山口県	山口県立防府養護学校(高等部)

平成18年度 国際理解教育研修会

会場：ひろしま国際プラザ

後援：鳥取県教育委員会、島根県教育委員会、岡山県教育委員会、広島県教育委員会、
山口県教育委員会、広島市教育委員会

国際理解教育研修会（第1回）

テーマ：体験してみよう！参加型学習

実施日：平成18年5月27日(土)

参加者：37名（鳥取県7名、島根県2名、岡山県10名、広島県13名、山口県5名）

【プログラム】

時間	内 容
11:45~12:30	受付
12:30~12:45	開会 JICA中国所長挨拶 JICA中国所長 生井 年緒
12:45~13:30	参加型体験① 「写真合わせ」他 講師：JOCA中国支部 堀田 直揮
13:30~13:40	休憩・移動
13:40~14:25	参加型学習体験② ～小学校コース～ 「H17教師海外研修参加教員による授業実践」 講師：広島市立吉島小学校 東岡 智富
	参加型学習体験② ～中・高等学校コース～ 「H17教師海外研修参加教員による授業実践」 講師：岡山県立天城高等学校 村井 容子
14:25~15:10	ディスカッション① 「どんな手法？参加型手法」 JOCA中国支部 地守ひずる

国際理解教育研修会（第2回）

テーマ：作ってみよう！国際理解教育授業プラン

実施日：平成18年9月30日(土)～10月1日(日)

参加者：53名（鳥取県7名、島根県6名、岡山県9名、広島県25名、山口県6名）

【プログラム】

1日目

時間	内 容
12:15~13:00	受付/宿泊施設チェックイン
13:00~13:10	開会の挨拶
13:10~15:45	参加型学習体験 「青年海外協力隊体験に基づいた教材を用いて、参加型学習を体験して見ましょう。」
15:45~16:00	JICA中国「開発教育支援事業・教師海外研修とは??」 JICA中国「開発教育支援事業内容をご紹介します。」
16:00~16:15	休憩/移動
16:15~17:30	JICA 教師海外研修 研修報告 ICA 教師海外研修…小学校・中学校・高等学校・盲・聾・養護学校の先生方が、開発途上国における国際協力や教育の現場を視察する海外研修旅行。JICA中国は、今年夏、中国地方在住の教員16名をケニアとガーナに派遣いたしました。その海外研修の様子をご紹介します。
18:00~20:00	懇親会

2日目

時間	内容
9:00~12:00	授業案の作成 「教師海外研修参加教員が海外研修で持ち帰った資料等を参考にしながら、国際理解教育授業案を作成しましょう。」
12:00~13:00	昼休憩
13:00~14:15	模擬授業実演・評価 「作成した授業案を実演し、それを評価・改善しましょう。」
14:15~14:25	休憩/移動
14:25~15:05	発表/共有 「改善した授業案の発表。完成した授業プランを参加者全員で共有しましょう。」
15:05~15:15	総括
15:15~15:30	ふりかえり/アンケート記入 閉会の挨拶

国際理解教育研修会（第3回）

テーマ：聞いてみよう！学校現場での様々な取り組み

実施日：平成19年1月27日(土)

参加者：41名（鳥取県6名、島根県4名、岡山県6名、広島県20名、山口県5名）

【プログラム】

時間	内容
12:00~12:30	受付
12:30~12:40	開会の挨拶
12:40~12:50	JICA教師海外研修概要説明 JICA中国職員 澁谷 和朗
12:50~13:00	休憩・移動
13:00~13:15	アイスブレイキング 「まずは頭と体の体操から！」 (社)青年海外協力協会 堀田 直揮
13:15~15:00	教師海外研修参加教員による授業実践報告 平成18年度教師海外研修参加教員16名
15:00~15:10	休憩・移動
15:10~16:10	話し合ってみよう！国際理解教育 (社)青年海外協力協会 堀田 直揮
16:10~16:25	JICA中国開発教育支援事業とは？ JICA中国職員 澁谷 和朗
16:25~16:30	閉会の挨拶 JICA中国所長 生井 年緒

平成18年度 研修員の学校訪問実績

訪問研修員総数 51名

訪問日	訪問校	時間	研修員数	研修員国籍	訪問した研修コース名
5月26日	山口県立防府養護学校	13:30-15:15	7	ミクロネシア、ニカラグア、 パキスタン、 マケドニア(旧ユーゴスラビア共和国)、 東ティモール、ベトナム	廃棄物管理総合技術Ⅱ
6月9日	東広島市立高屋東小学校	9:30-11:30	8	チリ、コロンビア、インドネシア、 ケニア、マレーシア、ミャンマー、 トルコ	養殖魚の健康と安全管理
7月14日	広島市立三田小学校	10:00-14:00	10	ヨルダン、オマーン、シリア、 イエメン	中東地域「上水道維持管理」
7月14日	岡山市立石井小学校	10:55-15:00	10	アフガニスタン、ブルギナファソ、 中華人民共和国、エチオピア、 ニジェール、パキスタン、タンザニア、 ジンバブエ	乾燥地水資源の開発と環境評価Ⅱ
1月19日	広島市立久地南小学校	10:00-12:00	10	ボツワナ、マラウイ、モーリシャス、 セーシェル、タンザニア、ザンビア、 ジンバブエ	南部アフリカ地域「中小企業育成」
1月19日	三原市立幸崎中学校	13:30-15:30	6	インドネシア、マレーシア、 ミャンマー、フィリピン、タイ、 ベトナム	食品加工・保全技術Ⅲ

平成18年度 高校生国際協力体験プログラム

(1) 参加校

実施日：平成18年8月17日(休)～平成18年8月19日(土)

会場：ひろしま国際プラザ

共催：(財)ひろしま国際センター

学 校 数 18校
参加生徒数 58名

県名	学校名	引率教諭	参加生徒	
			学年	人数
鳥取県	鳥取県立鳥取商業高等学校	赤木綾香	2	4
	私立倉吉北高等学校	高嶋博子	2	4
島根県	島根県立松江工業高等学校	尾原美香	1	2
岡山県	岡山県立岡山南高等学校	蒔田恵子	3	2
	岡山県立総社南高等学校	中野淑子	3	3
広島県	広島県立呉三津田高等学校	下栗敦子	1	2
	広島県立戸手高等学校	平田俊彦	2	2
			1	1
	福山市立福山高等学校	藤田憲弘	2	3
	私立広島女学院高等学校	向井均	2	3
私立山陽女学園高等部	重藤真知子	3	3	
山口県	山口県立下関南高等学校	三嶋和雄	2	4
	私立誠英高等学校	大村洋美	2	4
徳島県	徳島県立城西高等学校	松島節子	3	3
香川県	香川県立高瀬高等学校	奈良美都子	3	2
愛媛県	愛媛県立伊予農業高等学校	今井晶子	3	4
	私立済美高等学校	河人晴樹	1	4
高知県	高知県立高知南高等学校	嶋崎京都	3	4
	私立高知中央高等学校	久保慶祐	1	3
			3	1

(2) プログラムスケジュール

第1日目：8月17日(木)

時間	場所	内容
12:30~13:30	エントランスホール	受付
13:30~13:45	エントランスホール	開会 主催者あいさつ JICA中国 所長 生井 年緒 財ひろしま国際センター 常務理事 土居 淑子
13:45~14:00	エントランスホール	プログラム説明 JICA中国 澁谷 和朗
14:00~15:40	体育館	(ワークショップ1) はじまるぞ！ 国際協力体験プログラム これから始まる2泊3日のプログラム。まずは自己紹介と仲間づくりから。 もしも世界が85人の村だったら… もしも世界が85人の村だったら…どんな言葉をお話してるの？ どんなところで暮らしているの？ 地球で暮らす様々な人たちと、わたしたち日本人についてもっとよく知ってみよう！ ファシリテーター：(株)青年海外協力協会 高見 早苗 堀田 直揮
15:40~16:00		休憩
16:00~16:50	体育館	(おはなし1) 知ってる？ 青年海外協力隊 JICAってどんなことをやってるの？ よく聞く青年海外協力隊って？ JICA事業のひとつである青年海外協力隊について紹介します。 JICA中国 木梨 陽子
16:50~18:30		(おはなし2) のぞいてみよう！ 青年海外協力隊 青年海外協力隊の活動とは？何をやっているの？どんな生活をしているの？隊員活動の思い出、帰国してから思うこと、バラエティあふれる隊員活動。熱い思いを胸に活躍する協力隊経験者の話から、その魅力に触れてみよう。 1. 花岡 潤 (派遣国：バブアニューギニア、職種：村落開発普及員) 2. 長富 邦憲 (派遣国：バングラデシュ、職種：家畜飼育) 3. 梶田三佐江 (派遣国：タンザニア、職種：コンピュータ技術) 4. 鈴木 博子 (派遣国：セネガル、職種：野菜栽培) 5. 谷 祐喜子 (派遣国：タイ、職種：日本語教師) 司会：(株)青年海外協力協会 高見 早苗 堀田 直揮
18:30~19:00		チェックイン
19:00~20:00	食堂	夕食 (バイキング)

第2日目：8月18日(金)

時間	場所	内容
9:00~10:30	体育館	(ワークショップ2) 挑戦！ 青年海外協力隊 「クワボンザ村」① さあ、あなたも青年海外協力隊の一員となって活動をはじめましょう！ 自分にできることは？ 1人ではできないことも、力を合わせれば解決の糸口が見つかるかも…。みんなで話し合っ活動プランができたならグループ毎に発表だ。他のグループの活動は…？ 正解はありません。いろんな見方、感じ方。みんなで考えてみましょう。 ファシリテーター：(株)青年海外協力協会 高見 早苗 堀田 直揮

時間	場所	内容
10:30~10:50		移動・休憩
10:50~12:00	306研修室 セミナールーム1, 2	挑戦！青年海外協力隊 「クワボンザ村」② A B C D E グループ ファシリテーター：(社)青年海外協力協会 高見 早苗 F G H I J グループ ファシリテーター：(社)青年海外協力協会 堀田 直揮
12:00~13:00	食堂昼食	
13:00~14:40	306研修室 セミナールーム1, 2	挑戦！青年海外協力隊 「クワボンザ村」③ A B C D E グループ ファシリテーター：(社)青年海外協力協会 高見 早苗 F G H I J グループ ファシリテーター：(社)青年海外協力協会 堀田 直揮
14:40~16:00	体育館	挑戦！青年海外協力隊 「クワボンザ村」④ ファシリテーター：(社)青年海外協力協会 高見 早苗 堀田 直揮
16:00~16:30		移動・休憩
16:30~18:30	体育館	研修員との交流 各班に分かれ、研修員との交流の時間。交流は言葉じゃないぞ、ハートだぞ。積極的に研修員にアタックしよう！ ファシリテーター：(社)青年海外協力協会 高見 早苗 堀田 直揮
18:30~19:00		移動・休憩
19:00~20:30	食堂	研修員、JICA職員、青年海外協力隊員との懇親会

第3日目：8月19日(土)

時間	場所	内容
8:30~10:00	体育館	(ワークショップ3) 考えよう！今、自分たちにできること 「挑戦！青年海外協力隊」で考えた活動プラン。それは本当に実践可能？青年海外協力隊になれない今、プランにそって自分たちにできることはあるのか？想像だけじゃない、今の自分たちにできること。みんなで意見を出し合ってみよう！ ファシリテーター：(社)青年海外協力協会 高見 早苗 堀田 直揮
10:00~12:10	体育館	(ワークショップ4) 決めた！ これからの自分 1日目、2日目のプログラムのなかで学んだこと、感じたことをふり振り返りながら、これから自分たちにできることは何か、みんなで考えてみよう。グループで意見をまとめたら発表です。他の参加者は何を感じ、学んだのでしょうか。参加者みんなで、2泊3日で学んだことを共有しよう！ ファシリテーター：(社)青年海外協力協会 高見 早苗 堀田 直揮
12:10~12:20		移動
12:20~12:25	エントランスホール	閉会あいさつ
12:25~12:35	エントランスホール	事務連絡

平成18年度 高校生エッセイコンテスト応募実績と入賞者

(募集期間：2006年6月1日～9月22日)

県名	学校名	応募数	県名	学校名	応募数	
鳥取県 (2校)	松柏学院倉吉北高等学校	6	広島県 (15校)	広島女学院高等学校	3	
	鳥取県立鳥取商業高等学校	4		広島県立西条農業高等学校	3	
鳥取県合計		10		山陽女学園高等部	3	
島根県 (2校)	島根県出雲西高等学校	19		進徳女子高等学校	2	
	島根県立松江工業高等学校	2		福山市立福山高等学校	2	
島根県合計		21		広島市立大手町商業高等学校	1	
岡山県 (6校)	岡山県立総社南高等学校	193		広島県立呉三津田高等学校	1	
	岡山県立岡山南高等学校	55		広島県立庄原格致高等学校	1	
	岡山県立岡山操山高等学校	19		広島県合計		210
	吉備高原学園高等学校	4		山口県 (6校)	山口県立下関南高等学校	56
	岡山県立倉敷南高等学校	1			山口県立徳山高等学校	26
	備前市立片上高等学校	1			山口県立防府高等学校	8
岡山県合計		273			山口県立熊毛南高等学校	7
広島県	広島県立安芸府中高等学校	70			三田尻学園誠英高等学校	4
	広島県立広高等学校	63			山口県立下関工業高等学校	1
	広島学院高等学校	36	山口県合計		102	
	広島県立呉三津田高等学校	11	中国5県合計(31校)		616	
	比治山学園比治山女子高等学校	5	全国応募作品総数		15,962	
	福山暁の星女子高等学校	5				
	広島県立戸手高等学校	4				

審査員特別賞

広島市立大手町商業高等学校 3年 ダリスタン・セサリー 「人を助ける喜びを知って」

入選

鳥取県立鳥取商業高等学校 2年 村上 遙香 「協力って、何？」
 出雲西高等学校 3年 森山 夏樹 「世界の子どもたち」
 岡山県立岡山南高等学校 3年 松下 彩 「生きること」
 山口県立下関南高等学校 1年 岡田 雅子 「一人の力は皆の平和」

青年海外協力協会会長賞

倉吉北高等学校 3年 川原 唯 「ジャワ島地震を通して」
 岡山県立岡山操山高等学校 2年 岸 珠美 「愛から始まる国際協力」
 山口県立防府高等学校 2年 岡田 舟 「ホームステイを通して」

平成18年度 中学生エッセイコンテスト応募実績と入賞者

(募集期間：2006年6月1日～9月22日)

県名	学校名	応募数	県名	学校名	応募数	
鳥取県 (3校)	船岡町立船岡中学校	37	広島県 (32校)	呉市立倉橋東中学校	21	
	三朝町立三朝中学校	13		呉市立白岳中学校	21	
	鳥取市立河原中学校	2		広島市立似島中学校	18	
鳥 取 県 合 計		52		廿日市市立吉和中学校	18	
島根県 (5校)	益田市立高津中学校	73		江田島市立切串中学校	12	
	島根大学教育学部附属中学校	17		東広島市立磯松中学校	12	
	美郷町立邑智中学校	11		府中市立第二中学校	10	
	出雲市立大社中学校	5		広島市立阿戸中学校	9	
	松江市立第三中学校	1		呉市立天応中学校	8	
島 根 県 合 計		107		竹原市立竹原中学校	7	
岡山県 (11校)	玉島北中学校	114		呉市立昭和北中学校	5	
	金光学園	70		広島市立亀崎中学校	4	
	津山市立津山西中学校	53		府中町立府中中学校	4	
	玉野市立荘内中学校	36		福山市立東中学校	4	
	高梁市立高梁中学校	16		東広島市立向陽中学校	3	
	玉野市立東児中学校	12		呉市立白岳中学校	2	
	瀬戸内市立邑久中学校	4		庄原市立東城中学校	1	
	倉敷市立玉島東中学校	4		広 島 県 合 計		1,401
	朝日塾中学校	3		下関市立玄洋中学校	73	
	岡山市立旭東中学校	2		防府市立右田中学校	47	
	倉敷市立児島中学校	2		下関市立夢が丘中学校	41	
岡 山 県 合 計		316		香川学園宇部フロンティア大学付属中学校	26	
広島県	広島市立宇品中学校	281		光市立室積中学校	10	
	広島市立城南中学校	151		山陽小野田市立小野田中学校	10	
	広島市立祇園東中学校	141		阿東町立阿東中学校	8	
	広島県安芸郡熊野町立熊野中学校	94		宇部市立藤山中学校	7	
	広島市立瀬野川東中学校	91		梅光学院梅光女学院	7	
	広島市立祇園中学校	80		下関市立長成中学校	6	
	熊野町立熊野東中学校	73		長門市立向津具中学校	4	
	山陽女学園中等部	69		周南市立鼓南中学校	3	
	呉市立昭和中学校	64		下関市立吉見中学校	2	
	三原市立大和中学校	43		周南市立富田中学校	2	
	三原市立本郷中学校	41	山 口 県 合 計		246	
	呉市立両城中学校	40	中 国 5 県 合 計 (65校)		2,122	
	東広島市立高美が丘中学校	29	全 国 応 募 作 品 総 数		28,123	
	安芸高田市立吉田中学校	24				
	学校法人比治山学園比治山女子中学校	21				

国内機関長賞

広島県立広島中学校	2年	平田 桃子	「人との出会い、自分との出会い」
慶進中学校	3年	石川 裕美	「私のランドセルの第二の人生」

入選

八頭町立船岡中学校	3年	林 映美子	「恩返しをするために」
松江市立第三中学校	3年	青山 浩子	「私に与えられた使命」
玉野市立荘内中学校	3年	小川 智代	「支援って何だろう」
岡山市立興除中学校	1年	池田 周平	「平和への伝達」
庄原市立東城中学校	3年	土橋 友香	「伝えたいあの笑顔」
広島市立祇園中学校	3年	大谷 菜月	「誰かの願いが叶うころ」
福山暁の星女子中学校	3年	池田 奈緒美	「未来を作るために」

平成18年度 海外視察等に関する支援・便宜供与実績

合計： 7件
参加者数：80名

行事名（団体名）	訪問国	海外渡航期間	人数	内容
カンボジア国支援事業に係る意見交換のための派遣 (平和貢献NGOsひろしま)	カンボジア	7/29～8/1	2	JICA事務所訪問、カンボジアにおける支援事業、保健分野の人材育成に係る意見交換
青少年国際交流・協カスタディーツアー2006 (財団法人広島平和文化センター)	バングラデシュ	7/29～8/6	12	青年海外協力隊の活動現場視察
世界に翔けボランティア事業・海外短期研修 (岡山県企画振興部国際課)	カンボジア	8/20～8/26	8	JICA事務所訪問、プロジェクト視察、青年海外協力隊の現場活動視察
第15期「ひろしまアジア塾」海外研修 (財団法人ひろしま国際センター)	ベトナム	8/27～9/13	19	JICA事務所、日越人材協力センター訪問
松江市職員研修 (松江市)	中華人民共和国	11/12～11/17	15	JICA事務所訪問、青年海外協力隊の活動現場視察
平成18年度シニア国際協力ボランティア養成セミナー海外研修 (財団法人広島平和文化センター)	タイ・ベトナム	1/22～1/29	17	JICA事務所訪問、シニア海外ボランティアの活動現場視察
海外研修 (鳥取大学医学部サークル「国際保健友の会ハクナマタタ」)	フィリピン	3/10～3/26	7	JICA事務所訪問、プロジェクト視察、青年海外協力隊の活動現場視察

平成18年度 海外記者派遣実績

年度	派遣国	派遣期間	派遣記者	取材結果
平成14年度	エチオピア ジンバブエ ザンビア	2002.9.15～ 2002.9.28	中国新聞 東広島支局 吉原圭介 記者	「夢づくり 青年海外協力隊inアフリカ」(全6回) 中国新聞掲載
平成15年度	メキシコ パラグアイ	2003.8.31～ 2003.9.5	読売新聞 鳥取支局 井口 馨 記者	「地球の裏側から」(全5回) 読売新聞鳥取版掲載
平成16年度	ベトナム フィリピン	2004.11.3～ 2004.11.11	山口新聞 伊藤大輔 記者	「大海原を越えて 青年海外協力隊比越報告」(全5回) 山口新聞掲載
平成17年度	ケニア ウガンダ	2006.1.30～ 2006.2.11	山陰中央新報 井上誉文 記者	「1000キロの架け橋」(全6回) 山陰中央新報掲載 2006年3月11日 ピーストークマラソンin鳥根で取材報告
	マラウイ ザンビア	2006.3.6～ 2006.3.17	山陽新聞 藤岡慎吾 記者	「大地に汗を～アフリカ支援の今～」(全5回) 山陽新聞掲載 「手と手と手～岡山発 国際貢献～」山陽新聞(平成18年1月1日から平成18年6月23日まで97回連載)に参考情報として活用
平成18年度	カンボジア フィリピン	2006.5.25～ 2006.6.3	新日本海新聞 坂 彩子 記者	「きずなは固く～青年海外協力隊の2女性～」(全4回) 日本海新聞掲載 「信本先生のカンボジアメール」日本海新聞連載中(平成19年4月現在) ピース・トーク・マラソンin鳥取で取材報告
	タイ ベトナム	2006.10.16～ 2006.10.24	山口新聞 森重瑛美 記者	「山口から東南アジアへ～国際支援活動を追う～」(全5回) 山口新聞掲載 ピース・トーク・マラソンin山口で取材報告

平成18年度 職業インタビュー受入実績

学校名	受入日	受入生徒数
広島県立広島中学校	2/14	5

平成18年度 広島大学との連携協力

連携対象と連携区分

連携対象		連携区分	
1	国際協力に関する研究及び教育	1 委員の委嘱 2 セミナー等の共催 3 海外プログラムの実施 4 大学院入学推薦枠の適用 5 その他	
2	開発途上国の経済及び社会の発展に寄与し、国際協力の促進に資する事業	1 技術研修の実施(委託、講師派遣) 2 市民参加協力事業の実施 3 海外プロジェクトの実施(専門家・調査団員派遣、委員の委嘱、実施契約) 4 その他	
3	国際協力、国際交流に係る人材の育成	1 連携講座、出前講座、施設見学の実施 2 インターネットの実施 3 人事交流 4 その他	
4	その他、双方が合意するもの	1 施設の利用(特別宿泊料金の適用、学会の開催、説明会等の実施) 2 広報活動の支援 3 その他	

平成18年度計画・実施監理一覧表(広島大学との連携協力協定・JICA主管分)

番号	事業名	期間・日時	連携対象区分	主管部署・担当氏名・電話番号	連携部署・担当部署・電話番号	事業計画概要	進捗状況・成果
1	集団研修「中等科学教育実践I」	研修実施期間 平成18年8月8日 ～10月1日	2	JICA中国業務第1チーム(三浦) 082-421-6300	広島大学大学院教育学研究科(機械) 082-424-6812	研修参加者(6名):科学教育手法有する教員を養成。到達目標:①物理・化学などの実験技術の習得。②低コスト理科実験教材の開発方法の習得。③日本の科学教育の学習指導の理解。18年度は全5年次の2年次目。	研修参加者は7名に変更。左記期間、研修内容で予定通り実施。
2	地域別研修「仏語圏アフリカ教育行政」	研修実施期間 平成18年6月6日 ～7月16日	2	JICA中国業務第1チーム(三浦) 082-421-6300	広島大学高等教育研究開発センター(大場) 082-424-6233	研修参加者(10名):初中等の学校長などに日本の教育全般を理解してもらおう。到達目標:①日本の初中等教育の包括的知識の育成②日本の初中等教育の経験と実践の理解深める③特定教育テーマの深化。18年度は全5年次の4年次目。	研修参加者は8名に変更。左記期間、研修内容で予定通り実施。
3	個別研修「南アフリカ共和国理科教員養成者研修」	研修実施期間 平成18年11月1日 ～12月11日	2	JICA中国業務第1チーム(三浦) 082-421-6300	広島大学教育開発国際協力研究センター(長塚) 082-424-6249	研修参加者(9名):南アフリカ共和国の理数中等理科教員の指導法を改善。到達目標:①日本と自国の教育の経験と現状を比較②理科分野の教授法の質改善③自国の理数教員研修計画の策定。	研修参加者は10名に変更。左記期間、研修内容で予定通り実施。
4	地域別研修「アフリカ地域・研究と対話による自立的な基礎教育開発の促進」	研修実施期間 平成19年2月14日 ～3月17日	2	JICA中国業務第1チーム(三浦) 082-421-6300	広島大学教育開発国際協力研究センター(澤村) 082-424-6913	研修参加者(12名):各国の現状や課題に即した基礎教育分野の調査研究計画作成。到達目標:①基礎教育開発での高学教育機関の役割を理解②自国の基礎教育開発への自立的取組みを促進③自国の基礎教育開発に関する調査研究計画の作成。18年度は全3年次の3年次目。	研修参加者人数、期間、研修内容は左記と同様で予定通り実施。本研修は18年度で終了。
5	個別研修「ケニアINSET運営管理」	研修実施期間 平成19年2月21日 ～3月26日	2	JICA中国業務第1チーム(三浦) 082-421-6300	広島大学大学院国際協力研究科(田畑) 082-424-6937	研修参加者(12名):地区レベルにおける現職教員研修の運営管理を担う人材を養成。到達目標:①日本の教育標準の理解を深める。②日本の現職教員研修の運営管理方法を習得する。③各研修員毎に、所属地区の現職教員研修の改善行動計画をまとめる。18年度は全5年次の4年次目。	ケニアからの個別研修参加者12名に加え、アフリカ3カ国からカウンセラー2名、アフリカ2名(ウガンダ3名、ザンビア2名、マラウイ2名)が参加して、左記期間、研修内容で予定通り実施した。
6	地域別研修「社会的環境管理能力の形成と政策評価」	研修実施期間 平成19年11月7日 ～12月10日	2	JICA中国業務第1チーム(後藤) 082-421-6300	広島大学大学院国際協力研究科(松岡) 082-424-6920	研修参加者(12名):環境担当行政官の社会的環境管理能力の向上。到達目標:①自国の環境管理や評価に関する政策提言②環境管理への政府企業・市民の連携③大気汚染などに関する環境規制の実践的な知識習得。18年度は全5年次の3年次目。	左記人数、期間、研修内容で予定通り実施。本コースは20年度まで実施予定であったが、広島大学の受け入れ体制の変更などにより18年度で終了することになった。

平成18年度計画・実施監理一覧表（広島大学との連携協力協定・JICA主管分）

番号	事業名	期間・日時	連携 対象	連携 区分	連携 部署・担当 氏名・電話番号	連携 部署・担当 部署・電話番号	事業計画概要	進捗状況・成果
7	国別研修「インドネシア国際 取支・国際経済マネジメント 能力強化」	研修実施期間 平成18年3月14日 ～4月2日	2	1	JICA中国業務第 1チーム(橋本) 082-421-6300	広島大学国際 国際協力研究科 (小松) 082-424-6917	研修参加者(10名)：国際取支統計の知識を深め政策策定に反映。到達 目標：①国際取支統計の正確な把握・作成②国際取支統計の予測・モニ タリング能力向上。18年度は全3年次の2年次目。	研修期間を3月6日～3月24日に変更して実施。研修参加者人数、研修 内容は左記と同様。
8	日系研修(個別長期)「大気汚 染・酸性雨、地球温暖化の科学」	研修実施期間 平成18年7月18日 ～19年6月29日	2	1	JICA中国業務第 1チーム(後藤) 082-421-6300	広島大学総合科学 部(佐久川) 082-424-6504	研修参加者(1名)：大気汚染、酸性雨、地球温暖化などの地球環境の 大気環境問題の理解を深め、問題解決の手法を学ぶ。	左記内容で予定通り実施中。
9	日系研修(個別短期)「徳気象 観測と樹木の導管の画像解析術」	研修実施期間 平成18年4月24日 ～6月30日	2	1	JICA中国業務第 1チーム(後藤) 082-421-6300	広島大学総合科学 部(土谷) 082-424-6488	研修参加者(2名)：熱帯地域の農林業に不可欠な気象観測の手法(微 気象パラメーターの計算と解釈の方法等)を学ぶ。	左記内容で予定通り実施。
10	日系研修(個別短期)「遺伝子 組換え植物の作成と検出技術習 得」	研修実施期間 平成18年4月17日 ～6月27日	2	1	JICA中国業務第 1チーム(後藤) 082-421-6300	広島大学大学院理 学研究所生物科学 専攻植物分子細胞 構築学研究室 (鈴木) 082-424-7455	研修参加者(1名)：遺伝子組換え品種の検出・作成技術及びその基礎と なるDNA技術とアグロバクテリウム操作技術について学ぶ。	左記内容で予定通り実施。
11	日系研修(個別長期)「口腔保 健学」	研修実施期間 平成18年5月15日 ～19年4月20日	2	1	JICA中国業務第 1チーム(後藤) 082-421-6300	広島大学歯学部口 腔保健学科口腔保 健工学講座	研修参加者(1名)：口腔保健に関し、三次元デジタルモデリングと画像処 理の技術、それを利用したレポート型の研究、その他基本的技術操作等 について学ぶ。	左記内容で研修実施中。
追加 1	ケニア長期研修員「中等数 科教育」	研修実施期間 平成17年9月26日 ～20年4月3日	2	1	JICA中国業務第 1チーム(三浦) 082-421-6300	広島大学大学院教 育学研究所(高岡) 082-424-7089	研修参加者(1名)：本研修はケニアで実施しているJICAの「中等数 科教育強化計画プロジェクト(フェーズ2)」に関わっているカウンタ ーパートを受け入れているもので、研修を通じて授業改善に向けた指導能 力の向上方法やカリキュラム・シラバスの開発に関する計画立案能力の 向上方法を学んでいる。	左記内容で研修実施中。
追加 2	カンボジア長期研修員「環境 管理技術能力向上」	研修実施期間 平成18年9月3日 ～20年10月3日	2	1	JICA中国業務第 1チーム(三浦) 082-421-6300	広島大学大学院 国際協力研究科 (高橋) 082-424-7089	研修参加者(1名)：本研修はベトナムで実施しているJICAの「水環境 技術能力向上プロジェクト」に関わっているカウンタートを受け入 れているもので、水環境問題を環境管理という視点から研究を行い、そ の成果をプロジェクトが行っている水環境技術能力向上の中で環境エン 지니어リング部門に転用し、ベトナムにおける適用可能な技術に反映さ せる。	左記内容で研修実施中。
12	JICA中国における広島大学客 員研究員等のセンター宿泊特 別料金の試行的設定	試行期間 (平成18年4月1日 ～9月30日)後の 本格導入	4	1	JICA中国総務 チーム(岩崎) 082-421-6300	広島大学国際部 国際協力グループ副 課長(高光) 082-424-6042	1. 中国国際センター施設の有効利用の観点から、広島大学との連携協 力協定(2005.12.14締結)に基づいて、以下の理由により、同大学に 受入れる外国人研究フェロー等が同センターに宿泊する場合に特別設 定料金を適用することを試行する。 2. 同特別設定料金は、暫定的に¥4,541/泊(朝食込み、税込み)とする。 3. 試行期間は、平成18年4月1日から同年9月30日までの半年間とする。 4. 試行結果は、宿泊者に対するアンケートも含めてとりまとめ、上述 試行後の対照に反映させる。	連携プログラム定例年次協議(4/26)の場においても、大学側からこの 実現に強い要望があった。試行については、実現できなかった。大学と の連携協力協定に規定する施設の相互利用に基づき宿泊する者の一様特 別料金として、¥4,541(朝食込み)の適用が19年度から可能となった ことから、19年度連携計画で、広島大学外国人研究フェロー等の当該特 別料金によるJICA中国宿泊を推進する。
13	IDEC-JOCV連携プログラム (サンヒヤ管理教育センター 派遣) 広島大学主管3と同案件	平成14年4月 ～5年間	1 3 2	3 3	青年海外協力隊 事務局 海外グル ープ アフリカ・中 東・欧州チーム (萩原) 03-5352-5566	広島大学大学院 国際協力研究科 (IDEC)内、社会運 携事業委員会サ ンヒヤ専門部会 (池田) 082-424-6939	IDECの学生を青年海外協力隊員として派遣するプログラムである。18 年度の計画概要は、以下のとおり。 未定：連携協議会の開催 10月：協議会の内容検討・決定 未定：テレビ会議システムを利用しての講義 これまでの派遣実績は、以下のとおり。 14/ 2次隊で3名派遣 15/ 2次隊で2名派遣 15/ 3次隊で1名派遣 16/ 3次隊で2名派遣 17/ 2次隊で3名派遣中 17/ 3次隊で1名派遣中	①本プログラムの協定は、平成13年5月24日に締結されており、協定期 間を5年間としている。18年度については、包括協定を基とした本年次 協議で連携プログラムとして位置づけることから、上述協定の有効 性に問題は無い。なお、当該プログラムの19年度以降の扱いについては、 今後の協議による。また、5年間の当該プログラムの効果分析に当たっては、 は、大学側支援の有効性の検証に留意して、今後の同様の協力プログラムの モデルとなることを期待。以上、18年度定例年次協議(4/26)の結果。 ②広島大学大学院国際協力研究科とJICA青年海外協力隊事務局の連絡 協議会の開催(5/26)。 ③IDEC馬場助教授の現地巡回出張(8/4～14)。 ④IDEC-JOCV連携プログラム関連広報資料の在外事務所及び国内機関 等への配布。協力隊(プログラム参加)OVの募集説明会への参加(10月)。 ⑤関係4機関(IDEC、サンヒヤ事務局、青年海外協力隊事務局、JICA中国) TV協議

平成18年度年度計画・実施監理一覧表（国際協力機構との連携協力機構との連携協力機構）・広島大学主管分

番号	事業名	期間・日時	連携対象 対象区分	連携先 氏名・電話番号	主管部署・担当 氏名・電話番号	連携部署・担当 部署・電話番号	事業計画概要	進捗状況・成果
6	ベトナムにおける歯科口腔保健 歯医療分野の人材育成支援プ ロジェクト	平成18年8月1日 から23年7月31日 (5年間)	2 3	広島大学歯学部 (東京) Tel:082-257-5660	広島大学歯学部 JICAベトナム事 務所関連	JICA人間開発部 JICAベトナム事 務所関連	ベトナムの保健医療水準は、ベトナム競争力30年を迎えて全般的には向 上の方向にあるが、歯科口腔保健の状況は改善されつつある。その原因と しては人口4万人に対して歯科医師1人（日本は1800人に1人）の割合で あり、5つの歯科大学での定員総和も人口約700万人に対して年間190人 （日本は2700人）のみである。また、コロンタスタップとして年間190人 の歯科教育はベトナムのみである。1機関では無差別に歯科衛生士 の制度は発達していない。農村部では無差別に歯科衛生士の養成が急務 となっており、同国における歯科口腔保健医療分野の人材育成を 支援したい。なお、本事業はベトナムに30年を経て、近代化と平 和の希望を醸成させてきたベトナムに、同様の経験を有する平和都市 広島をモデルとして貢献でき社会的意義も大きい。 2000年より、広島大学歯学部同窓生によるNGO日本歯科ボランティア 機構（JAVDO）が立ち上げられ、ベトナムにおける予防や治療活動を 開始し、定期的な訪問し、派遣活動は30回を認めている。このよ うな活動を基盤として、2006年1月に広島大学で開催されたHiroshima Conference on Education and Science in Dentistry, 2006にはポーチ ミン市歯科薬科大学歯科口腔科学部のHoang Tu Hung学部長が参加し、 協力要請を受けることにも、同年3月14日には広島大学歯学部の実原英 見学部長ならびに藤田 隆学部長がポーチミン市を訪問し、今後の協 力について話し合いを行った。	(JICA人間開発部コメント) 当該案件は、個別事業実施計画の以下の3重点プログラムに合致しない。 ①保健医療機関の機能強化支援、②公衆衛生啓蒙普及（リプロダクティ ブヘルス）支援、③感染症対策支援 (連携プログラム定例年次総覧(4/26)の結果) ①ベトナム国に対してのJICA事業実施計画に合致していないことから、 JICAプロジェクトとしての実施の可能性は小さい。 ②保健医療分野協力の情報共有として、連携する。特に、大学関係者 が当該国を訪問される際には、JICA事務局と意見交換する機会を持つ 等、相互に情報共有に努める。 ③章の保健医療分野によるJICA協力の可能性については、今後、歯 学部長とJICA中国で意見交換する。 上述JICA中国との意見交換の結果、章の保健医療協力事業の新規案件形 式は困難と判断し、本件JICA連携プロジェクトとしての扱い取り下付 ることとした。
7	「技術移転」MOT (Management of Technology) プログラム	n.a	2 1	広島大学産学連携 センター（松井）	JICA中国 (連携事務局)	JICA中国 (連携事務局)	平成17年度産学連携推進事業「発展途上国への技術移転MOT教育プ ログラム」として、「技術移転」を取りまとめた。概要は以下参照。 1. 視点：①雇入れ・移転側の両者の視点から技術移転を追求 ②技術移 転を体系的に捉える ③Win-Win Solutionを目指す 2. 対象：①インテリジェントなエンジニアリングを担う留學生 ②技術移 転を担う地域の技術者 ③日本の技術を構築する留學生 平成17年度産学連携推進事業「発展途上国への技術移転MOT教育プ ログラム」として、「技術移転」を取りまとめた。概要は以下参照。 1. 視点：①雇入れ・移転側の両者の視点から技術移転を追求 ②技術移 転を体系的に捉える ③Win-Win Solutionを目指す 2. 対象：①インテリジェントなエンジニアリングを担う留學生 ②技術移 転を担う地域の技術者 ③日本の技術を構築する留學生	JICA経済主管の集団研修コース「職業能力開発行政セミナー」で、当 該教材を使用した技術移転と人材開発と題する講義を行った(11/24)。当 該研修コースは、JICAと厚生労働省の協力のもとで開発途上国におい て職業能力開発を担う行政官を日本に招聘し、職業能力開発行政全般 の発展を通じて社会・経済の発展に寄与することを目的としている。参 加研修員は、アジア、アフリカ、南太平洋などの諸国から選抜された總 業訓練行政官やコメントが出て、活発な議論が行われた。
番外	JICAプロジェクト「バングラ デシュ小学校教育強化計画」	平成16年10月 ～20年9月	n.a.	広島大学大学院 国際文化研究センター バングラデシュ総合 同運営委員会 (鹿嶋) 082-424-6942	JICAバン グ ラ デ シ ュ の 国 際 協 力 課 (連 携 事 務 所) JICA人間開発部 JICAバン グ ラ デ シ ュ の 国 際 協 力 課 (連 携 事 務 所) JICAバン グ ラ デ シ ュ の 国 際 協 力 課 (連 携 事 務 所) JICAバン グ ラ デ シ ュ の 国 際 協 力 課 (連 携 事 務 所)	JICAバン グ ラ デ シ ュ の 国 際 協 力 課 (連 携 事 務 所) JICA人間開発部 JICAバン グ ラ デ シ ュ の 国 際 協 力 課 (連 携 事 務 所) JICAバン グ ラ デ シ ュ の 国 際 協 力 課 (連 携 事 務 所)	受託事業（4年間）：バングラデシュ国初等教育理科教育の質的向上 を担ったJICA技術協力プロジェクトである。サブセクタープロジェクト である初等教育計画（PEDP）に位置づけられ、本事業は特に第二コ ンポーネント「学校及び教室における質の改善」を担当している。大学法 人として国内で初めて、実施契約に基づき受託した。	当該プロジェクトからの18年度の本邦研修員受入は実施していない。
参考 情報	外務省海外巡回健康相談	平成18年11月 の3週間	n.a.	広島大学医学部外 科学（末田） 082-257-8215 附属病院・看護部 082-257-5465	広島大学医学部外 科学（末田） JICA 東チモール事務局 関連（参考まで）	広島大学医学部外 科学（末田） JICA 東チモール事務局 関連（参考まで）	平成18年度は、東チモール（インドネシア、東チモール）における海外 在留邦人の健康診断は実施しなかった。	

2. 参考資料

主な関係団体 (中国5県)

(1) 国際協力関連業務主管部課

県・市名	国際協力主管部課	郵便番号	所在地	電話番号
鳥取県	文化観光局交流推進課	680-8570	鳥取市東町1-220	0857-26-7079
島根県	環境生活部文化国際課	690-8501	松江市殿町1	0852-22-6462
岡山県	企画振興部国際課	700-8570	岡山市内山下2-4-6	086-226-7284
広島県	総務部秘書広報局国際室	730-8511	広島市中区基町10-52	082-228-3046
山口県	地域振興部国際課	753-8501	山口市滝町1-1	083-933-2340
広島市	企画総務局国際平和推進部	730-8586	広島市中区国泰寺町1-6-34	082-504-2106

(2) 主な協力団体

県・市名	団体名	郵便番号	所在地	電話番号
鳥取県	財団法人 鳥取県国際交流財団	680-0947	鳥取市湖山町西4-110-5鳥取空港国際会館1階	0857-31-5951
島根県	財団法人 しまね国際センター	690-0826	松江市学園南1-2-1くにびきメッセ2階	0852-31-5056
岡山県	財団法人 岡山県国際交流協会	700-0026	岡山市奉還町2-2-1岡山国際交流センター内	086-256-2917
広島県	財団法人 ひろしま国際センター	730-0037	広島市中区中町8-18クリスタルプラザ6階	082-541-3777
山口県	財団法人 山口県国際交流協会	753-0811	山口市吉敷3185-1	083-925-7353
広島市	財団法人 広島平和文化センター	730-0811	広島市中区中島町1-5広島国際会議場内	082-242-8879

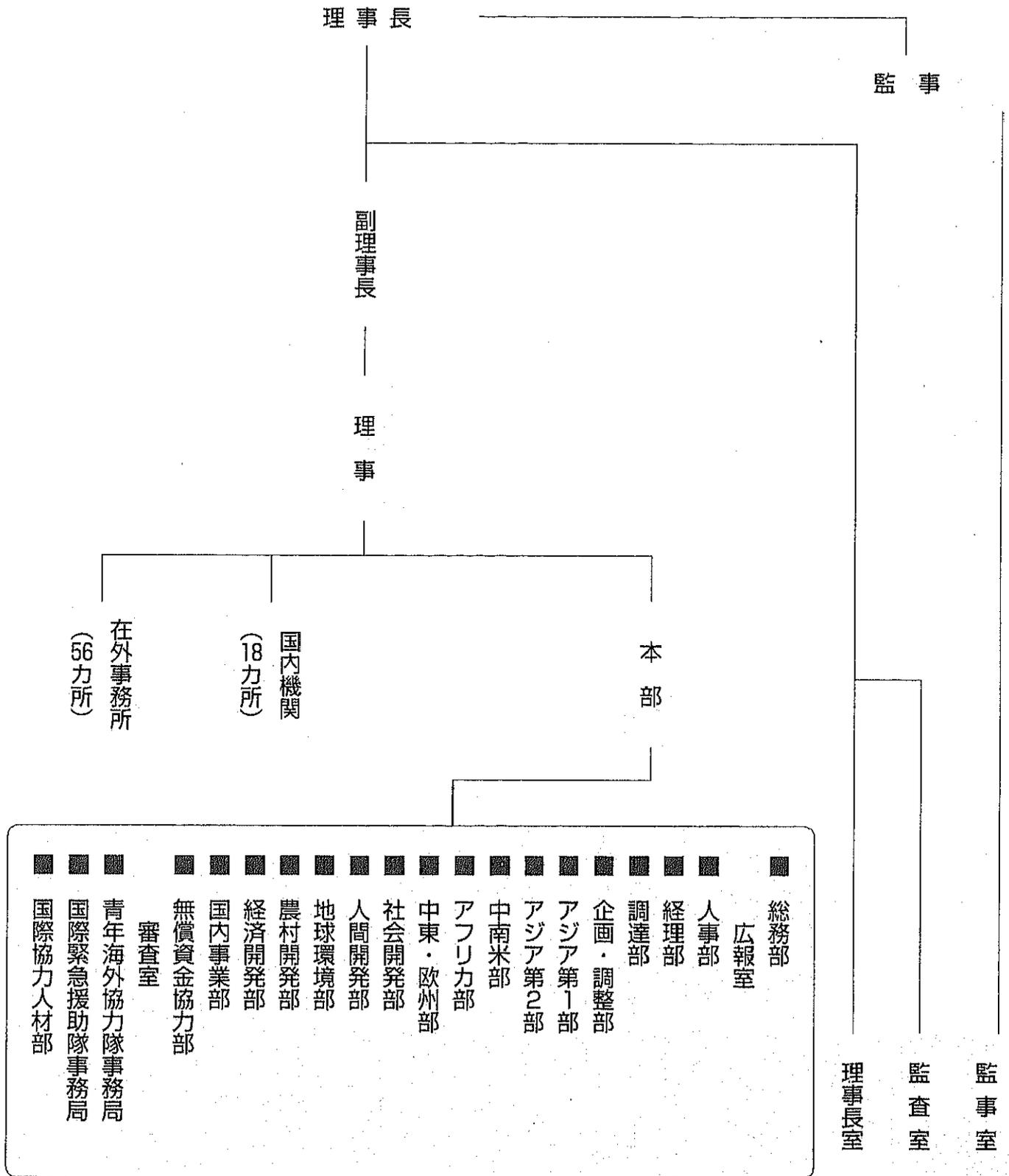
(3) 青年海外協力隊OB会・育てる会

団体名	代表者名・役職	
青年海外協力隊鳥取県OV会	谷 田 孝 之	会 長
島根県青年海外協力隊協会	寺 本 裕 二	会 長
青年海外協力隊岡山県OV会	万 代 ユ ミ	会 長
青年海外協力隊広島県OB会	岡 平 考 司	会 長
青年海外協力隊山口県OB会	三 村 和 義	会 長
広島県青年海外協力隊を育てる会	宮 田 文 雄	監 事
山口県協力隊を育てる会	岩 本 功	会 長

(4) JICA専門家連絡会

団体名	代表者名・役職	
鳥取県JICA派遣専門家連絡会	藤山 英保 (鳥取大学農学部教授)	会 長
島根県JICA派遣専門家連絡会	増永 <small>つぎゆき</small> 二之 (島根大学准教授)	事務局長(会長代行)
岡山県JICA派遣専門家連絡会	山北 勝寛 (吉備国際大学教授)	幹事(会長代行)
広島県JICA派遣専門家連絡会	阪田 泰和 (広島大学医学部留学生相談室)	臨時会長
山口県JICA派遣専門家連絡会	西山 壯一 (山口大学農学部教授)	会 長

国際協力機構の組織図 (平成19年4月1日現在)



JICA中国の沿革

1. 事業の沿革

昭和29年から管轄地域内各県で実施されていた海外移住業務を、昭和39年7月に設置された国際協力事業団（JICA：Japan International Cooperation Agency）の前身である海外移住事業団広島県事務所が各県海外協会から継承しました。昭和40年から各県の協力を得て実施されていた青年海外協力隊業務は、国際協力事業団広島支部が設置された昭和49年8月から扱うこととなり、研修員の受入れ業務は、昭和56年から実施しています。

2. 組織の変遷

<海外協会>

昭和29年1月 財団法人日本海外協会連合会が東京に設立される。

昭和29年3月 広島県及び鳥取県に海外協会が設立される。

昭和29年4月 岡山県に海外協会が設立される。

昭和29年10月 山口県に海外協会が設立される。

昭和29年11月 鳥根県に海外協会が設立される。

<海外移住事業団>

昭和38年7月 海外移住事業団設立。財団法人日本海外協力連合会及び日本海外移住振興株式会社の業務を継承。

昭和39年7月 海外移住事業団地方事務局が各都道府県に設置され、地方海外協会の業務を継承。

昭和48年10月 各都道府県事務所が12ブロックに統合され、中国地方では、広島県、山口県及び鳥根県は広島支部、岡山県及び鳥取県は兵庫県と共に神戸支部が管轄。山口県には更に駐在員事務所を配置。

<国際協力事業団>

昭和49年8月 国際協力事業団設立。海外技術協力事業団、海外移住事業団、財団法人海外農業開発財団の業務の全てと、財団法人海外貿易開発協会の業務の一部を継承。海外移住事業団広島支部は、国際協力事業団広島支部となる。

昭和53年9月 山口駐在員事務所が廃止。

昭和54年7月 国際協力事業団広島支部の担当地域に鳥取県及び岡山県が加わり、中国5県を管轄することとなる。

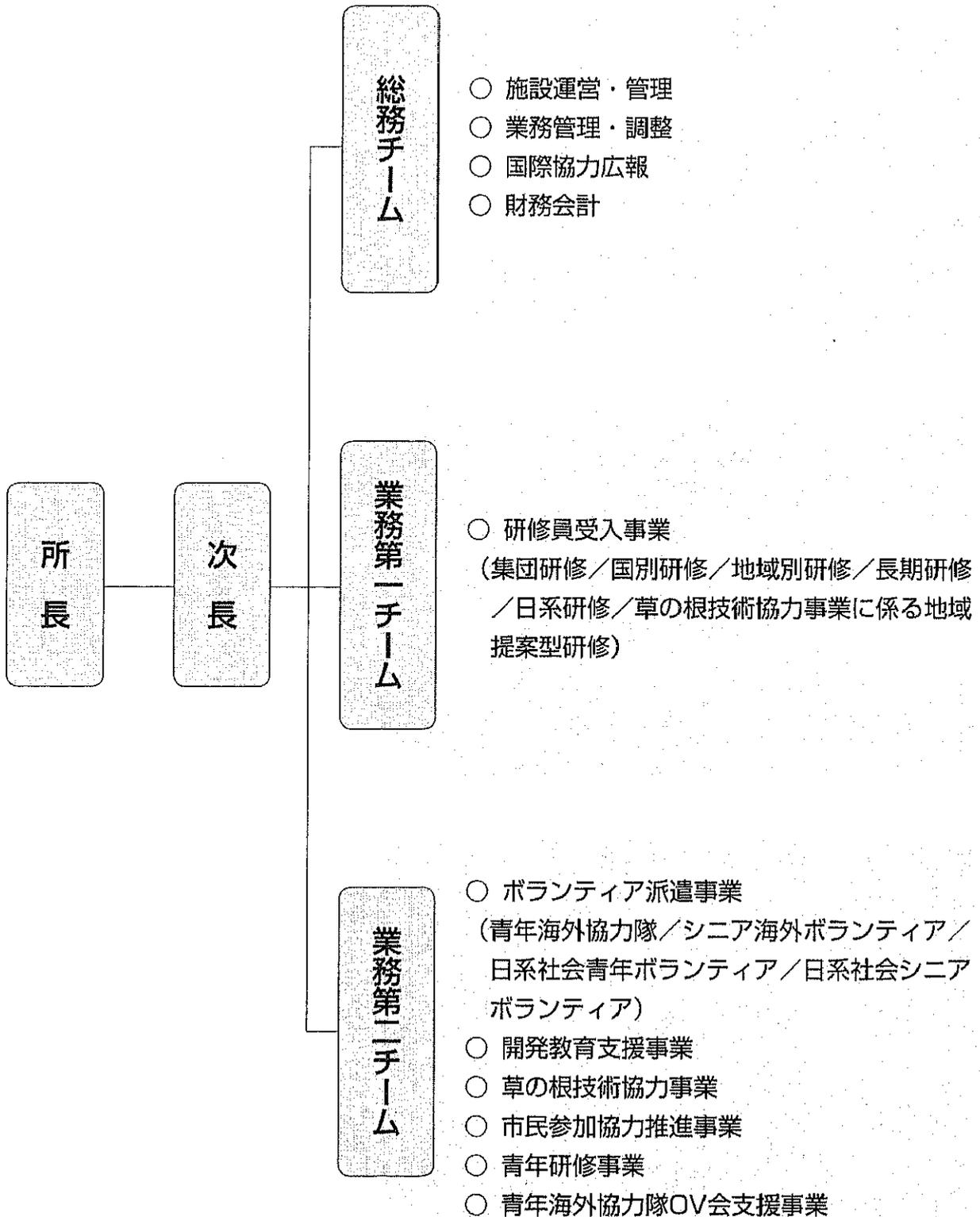
昭和55年4月 広島支部の名称が中国支部に変更される。

平成8年10月 中国支部が廃止され、中国国際センターが設立される。

平成9年2月 平成9年1月東広島市鏡山の広島中央サイエンスパーク内に、JICAと広島県との共同施設「ひろしま国際プラザ」が完成。中国国際センターも、その施設内に移転。

平成15年10月 国際協力事業団は、独立行政法人化して「独立行政法人国際協力機構」（英文名称は「JICA」のまま）となる。

JICA中国の組織図・業務内容 (平成19年4月1日現在)



JICA中国の職員

(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

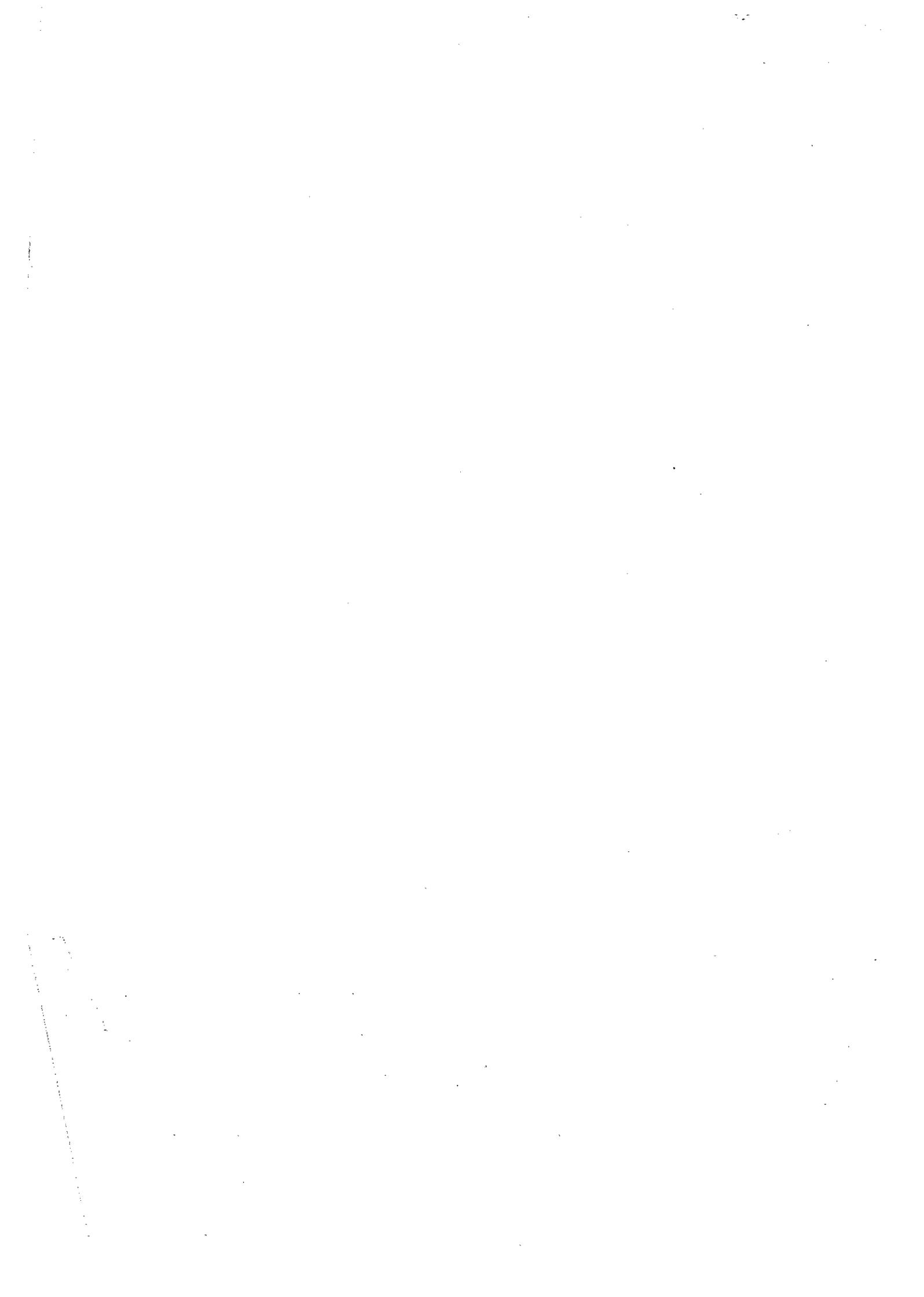
所長		生 井 年 緒
総務チーム	次長兼総務チーム長 主査	岩 崎 薫 籾 満彦 岡 野 恵美子 杉 村 智子 長 原 ひとみ 松 野 憂子 岩 本 みゆき 1月～
業務第一チーム	業務第一チーム長	宿野部 雅 美 三浦 佳子 若杉 裕司 後藤 幸子 橋本 洋平 崎岡 明子 坂本 尚智 辻三 谿 千 晶 春 8月～
業務第二チーム	業務第二チーム長 業務第二チーム長 進路相談カウンセラー 国内協力員 市民参加協力調整員 国際協力推進員 国際協力推進員 国際協力推進員 国際協力推進員 国際協力推進員 国際協力推進員 国際協力推進員 国際協力推進員	花 井 淳 一 辻 野 博 司 澁 谷 和 朗 木 梨 陽 子 兼 井 橋 敬 子 栗 智 正 綾 越 木 南 圭 映 名 村 欣 哉 鳥取県 花岡 潤 島根県 長富 邦 惠 岡山県 梶田 三 佐 岡山県 武藤 理 江 広島県 白築 健 山口県 白鈴 博 子 広島市 磯 木 祐 子 広島市 井 尚 子 3月～ 3月～

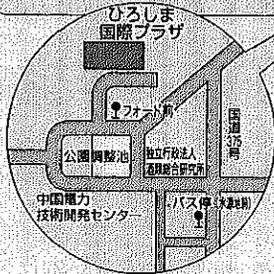
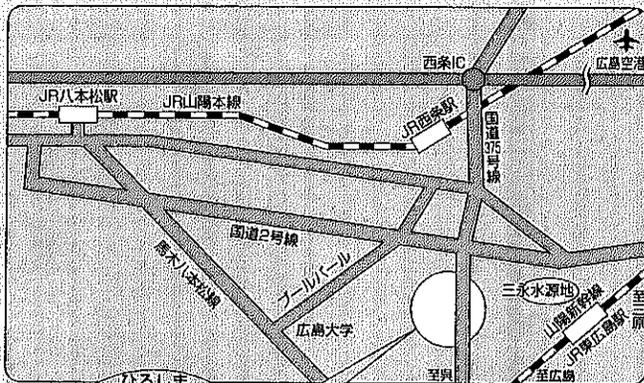
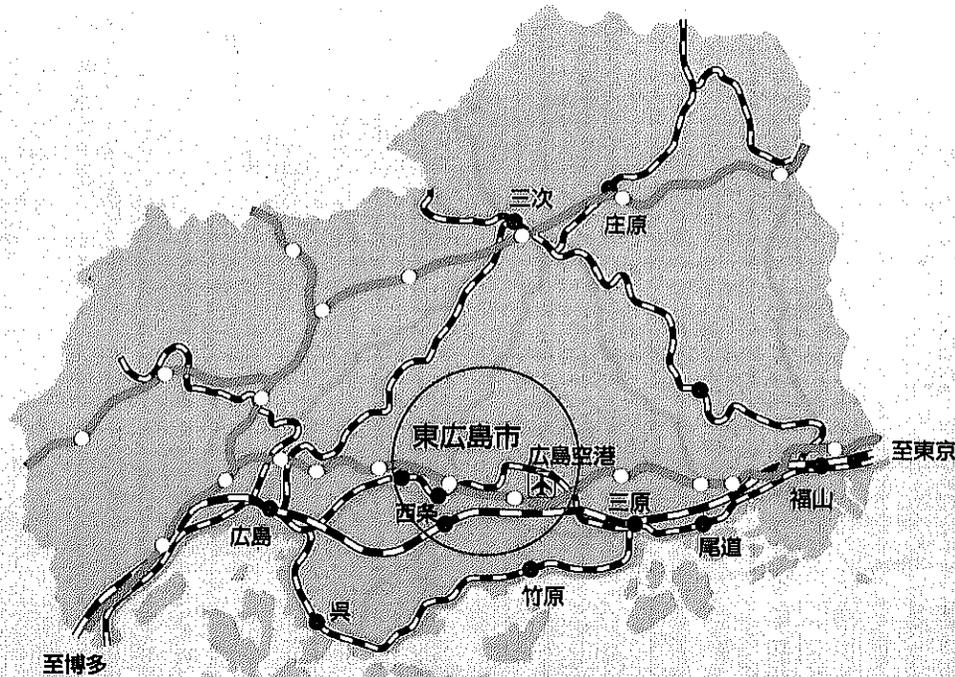
独立行政法人 国際協力機構中国国際センター 平成18年度活動レポート

2007年6月 発行

発行 独立行政法人 国際協力機構
中国国際センター

〒739-0046 広島県東広島市鏡山3丁目3番1号
TEL 082-421-6300
FAX 082-420-8082





**独立行政法人 国際協力機構
中国国際センターへの交通アクセス**

- JR西条駅から
 - ・JRバス 黒瀬・広・呉方面行(7番のりば) 水源地前(すいげんちまえ)下車 徒歩15分
 - ・JRバス サイエンスパーク行(7番のりば) フォード前下車 徒歩5分
 - ・タクシー 15分
 - ・シャトルバス 西条駅前(6番のりば) 15分
- JR東広島駅から
 - ・タクシー 10分
- 広島空港から
 - ・バス(呉市交通局)呉駅行 水源地前(すいげんちまえ)下車 徒歩15分
 - ・タクシー 30分
- 山陽自動車道 西条ICから
 - ・自動車 国道375号線を呉方面へ 15分

**■シャトルバス運行表
【JR西条駅→ひろしま国際プラザ】**

JR西条駅	ひろしま国際プラザ	(ハビリテーションセンター)	備考
8:58	→ 9:13		土日祝運休
10:00	→ 10:16	→ (10:25)	※
10:50	→ 11:06	→ (11:15)	※
13:35	→ 13:51	→ (14:00)	※
18:00	→ 18:19		土日祝運休
18:00	→ 18:15		土日祝のみ運行
18:55	→ 19:10		土日祝運休
19:30	→ 19:45		土日祝のみ運行

【ひろしま国際プラザ→JR西条駅】

(ハビリテーションセンター)	ひろしま国際プラザ	JR西条駅	備考
	8:35	→ 8:50	土日祝運休
(9:35)	→ 9:44	→ 9:58	※
(13:00)	→ 13:09	→ 13:25	※
(16:10)	→ 16:20	→ 16:35	※
	17:40	→ 17:55	土日祝のみ運行
	17:45	→ 18:00	土日祝運休
	18:40	→ 18:55	土日祝運休
	19:10	→ 19:25	土日祝のみ運行

※印のバスはハビリテーションセンターが運賃しているバスです。
乗車・乗降の利用については、ハビリテーションセンター利用者が優先となります。



ジャイカ

独立行政法人 国際協力機構
中国国際センター

〒739-0046 広島県東広島市鏡山3-3-1ひろしま国際プラザ内
TEL(082)421-6300 FAX(082)420-8082
<http://www.jica.go.jp/chugoku/index.html>